

令 7 一 依 ・ 単 旅 客 タ ー ミ ナ ル 施 設 排 水 設 備 改 修 工 事

図 面 リ ス ト

建 築 図		電 気 設 備 図		機 械 設 備 図	
図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
A－1	建築工事改修特記仕様書（1）	E－1	電気設備改修工事特記仕様書	M－1	機械設備改修工事特記仕様書
A－2	建築工事改修特記仕様書（5）	E－2	1 階 配 線 図	M－2	外部配管図
A－3	建築工事改修特記仕様書（6）			M－3	排水設備改修図（1）
A－4	建築工事改修特記仕様書（7）			M－4	排水設備改修図（2）
A－5	建築工事改修特記仕様書（9）			M－5	排水設備撤去図（1）
A－6	建築工事改修特記仕様書（10）			M－6	排水設備撤去図（2）
A－7	配置図・案内図・舗装復旧図・指定仮設図			M－7	排水設備撤去図（3）
A－8	1 階平面図（改修前・改修後）			M－8	排水設備撤去図（4）
A－9	1 階 仮 設 計 画 図			M－9	排水設備撤去図（5）
A－10	立面図（1）（参考図）			M－10	1 階グリーストラップ配置図（1）（参考図）
A－11	立面図（2）（参考図）			M－11	1 階グリーストラップ配置図（2）（参考図）
A－12	断面図（参考図）			M－12	2 階グリーストラップ配置図（参考図）
A－13	排水設備図（改修前）				
A－14	排水設備図（改修後）				

建築改修工事特記仕様書【令和6年4月版】

I 工事概要

1 工事番号・名称

令7ー依・単 旅客ターミナル施設排水設備改修工事

2 工事場所

塩竈市港町一丁目4番1号

3 用途地域等

都市計画区域 ○ 内 ・ 外 用途地域（準工業地域）
防火地域等（防火準防火指定なし ○ 22条）
その他の地域（地区）

4 主要用途

旅客待合所・店舗・事務所

5 敷地面積

5, 538. 81㎡

6 工事の概要

現施設撤去工事 1式
中継ポンプ新設工事 2基
警報盤新設工事 1式

7 別途工事

なし

8 その他

工期は、契約の日から令和8年3月10日まで
現場の工事開始は、令和7年9月1日以降とすること。
施設内の作業時は、第三者の安全確保に留意すること。
工期内に、完成検査を受け、手直しまで完了すること。

9 特記仕様書の範囲

特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印のもので構成する。
・ 構造特記仕様書 外構工事特記仕様書 植栽工事特記仕様書
・ 解体工事特記仕様書 電気設備工事特記仕様書 機械設備工事特記仕様書

II 建築工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（令和4年版）」（以下、「改修標準仕様書」という。）による。
ただし、「改修標準仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書（令和4年版）」（以下「標準仕様書」という。）及び「建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）」（以下「解体共通仕様書」という。）による。
なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。
2. 特記仕様
1）項目は、番号に○印のついたものを適用する。
2）特記事項は、○印のついたものを適用する。○印のつかない場合は※印のついたものを適用する。○印と※印のついた場合は、共に適用する。
3）特記事項に記載の＜ ＞、（ ）及び〔 〕内の表示番号は、それぞれ「改修標準仕様書」、「標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章

項

目

特記事項

1 一般共通事項

① 一般事項

○ 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の上、指示に従うこと。
○ 受注者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。
○ 施工体系図を現場に提示すること。
・ 工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況（地盤、擁壁、内外壁、床、建具等）を調査・記録し、報告書を監督職員に提出すること。
※工事に伴う環境調査要領 平成28年4月（東京都建設局編集）による
※調査に先立って調査計画書を作成し監督職員の確認を受けること
※ 図示

② 適用基準等

○ 建設工事執行規則（昭和39年3月宮城県規則第9号）
○ 宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱
○ 建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和4年版）
○ 営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部 令和5年版）及び工事写真撮影ガイドブック（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和5年版）

3. 概成工期

工事工期より 日 前 <1. 2. 1>

④ 工事実績情報（ORINS）の登録

※ 適用する（請負精算額が500万円以上の場合） <1. 1. 4>
受注時、変更時及び工事完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、契約締結後及び工事完成後の10日以内に登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。
・ 適用しない

⑤ 発生材の処理等

発生材の処理 <1. 3. 12>
・ 引渡しを要するもの（ ）
・ 特別管理産業廃棄物（ ）
・ 受入れ施設名・所在地（km）
・ 現場において再利用を図るもの（ ）
・ 再生資源化を図るもの

種 類

受入施設名

所 在 地（Km）

備考

○ コンクリート塊

昭和羽前建設工業

仙台市宮城野区仙台港北2-10-4（6km）

・ アスファルト

・ 建設発生木材

・ コンクリートから成る建設資材

○ 混合ガラ

矢本リサイクル・大木最終処分場

東松島市大塩字天神堂1-1、1-2、3（60km）

・その他の廃棄物（安定型）

種 類

受入施設名

所 在 地（Km）

備考

・

・

・

・

・その他の廃棄物（管型型）

種 類

受入施設名

所 在 地（Km）

備考

・

・

・

・

上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記に於かない場合は、監督職員と協議すること。
また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること

PCB（ポリ塩化ビフェニール）含有機器

・ 有（数量は図示）

[5. 4. 1]

・ 無

PCB含有シーリング材

・ 有（施工範囲は図示）

[5. 4. 1]

・ 無

PCBを含有する機器等については、飛散、流失等がないように適切な容器に納め、適切な場所に保管し、工事完了後、監督職員に引き渡す。

アスベストの処理

吹き付けアスベスト除去工事

・ 有（図示）

・ 無

受け入れ施設名・所在地（km）

アスベスト含有保温材除去工事

・ 有（図示）

・ 無

受け入れ施設名・所在地（km）

アスベスト成形板除去工事

・ 有（図示）

・ 無

受け入れ施設名・所在地（km）

ヒ素又はカドミウム含有石膏ボードの処理

・ 有（図示）

・ 無

ヒ素又はカドミウムボード

次に該当する場合は、指定する場所に処分すること。
＜対象となる石膏ボード＞
小名浜吉野石膏（株） いわき工場 昭和48年10月～平成9年4月の間に製造されたもの
日東石膏ボード（株） 八戸工場 平成4年10月～平成9年4月の間に製造されたもの

指定する処分場

【名称： 所在地（km）】

・ 適用する ※ 適用しない

<1. 3. 3>

<1. 3. 10>

工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、監督職員から指示があった場合は「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。

材料の品質等

<1. 4. 2>

※ 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。
特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとす。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。

環境への配慮

<1. 4. 1>

※ 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。

※ ホルムアルデヒド仕様

使用する材料のホルムアルデヒド仕様は以下のとおりとする。
ホルムアルデヒド放散量 規制対象外 の場合の建築材料
1） J I S及びJ A SのF☆☆☆☆品
2） 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品
3） 次の表示のある J A S適合品
a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用
b. 接着剤等不使用
c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用
d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用

※ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定（1. 5. 9）＜1. 7. 9>

試料採取及び測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法及び測定方法」の新築住宅の例に準拠するほか、拡散方式ではサンブラー製造所の定める仕様により行う。
測定対象物質
※ホルムアルデヒド（濃度指針値 100μg/m3 ・ 0. 08ppm）
※ホルムアルデヒド（濃度指針値 220μg/m3 ・ 0. 05ppm）
※ホルムアルデヒド（濃度指針値 260μg/m3 ・ 0. 07ppm）
※ホルムアルデヒド（濃度指針値 3、800μg/m3 ・ 0. 88ppm）
※ホルムアルデヒド（濃度指針値 200μg/m3 ・ 0. 05ppm）

測定する室等：（ ）

採取方法：吸引方式又は拡散方式とし、拡散方式では8時間採取する。

測定結果等報告書の提出
次の事項を記載した報告書を1部提出する。
a 測定結果
b 試料採取時の状況（気温・湿度（室外・室内）、天候、風の状況、日射進入状況、測定年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成時から測定日までの日数）
c 試料採取方法、測定方法、使用した測定機器

測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は、引渡は受けない。

・ 総揮発性有機化合物の測定
測定方法、測定物質及び測定か所等については、この仕様書の末尾に定める総揮発性有機化合物測定仕様書による。

※ 室内VOC濃度の測定結果に関する書面の当該施設への提示については、施設管理者に依頼する。

「改修標準仕様書」及び「標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。

10. 特別な材料の工法

11. 建築基準法による風圧力等の指定

<3. 5>、<3. 9>×<5. 11～13. 2>×<5. 14、5>（13. 2、3）（13. 3、3）

適用工事

建築基準法の指定

・ 合成高分子系ルーフィングシート

風速（V0）※30

・ アルミニウム笠木

・ 金属板屋根葺

地表面粗度区分 ・ II ・ III

・ 折板屋根葺

・ ガラスブロック

多雪地域の指定 ・ 有 ・ 無

・ 重量シャッター

・ 軽量シャッター

・ オーバーヘッドドア

・ 屋上緑化

※ 図示

・ 現状平均地盤高

施工数量調査

<1. 6. 2>

調査項目

調査範囲

調査方法

成果品

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

備 考			塩竈市産業建設部まちづくり・建築課	設計 日新設計 株式会社	管理技術者 荒井 孝	作図年月日 R 7 . 2 . 1	承認	工事名 令 7－依・単 旅客ターミナル施設排水設備改修工事	縮尺	図番 A－01
				施工	現場代理人			図面名 建築改修工事特記仕様書(1)	区分	

5
建具改修工事

・複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
・建具表による

断熱性による区分
・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6

日射取得性、日射遮蔽性による区分
・G ・S

乾燥気体の種類
・空気 ・アルゴン ・

・熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による

日射熱遮へい性による区分
・1種 ・2種 ・3種

耐久性による区分（日射熱遮へい性が2種の場合）
・A類 ・B類

・倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
・建具表による

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)
アルミニウム製	・シーリング材 ・グレイジングチャンネル ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による
鋼製及び鋼製軽量	・	※建具の製造所の仕様による ・図示による
ステンレス製	・シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による
樹脂製	・グレイジングガスケット ・	※建具の製造所の仕様による ・図示による

<5.14.5>

呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整目地位置 (mm)	防火性能
・160×160	・95 ・				
・200×200	・95 ・				

壁用金属枠及び補強材
※図示による
・
力骨
材質
※ステンレス鋼(SUS304)
・
寸法
※径5.5mm
・
形状
※はしご形状複筋及び単筋
・

化粧目地モルタルの色（・白 ・グレー）
シーリングの種類（・SR-1 ・PS-1）
金属製化粧力バー
材質
・ステンレス製
・アルミニウム製
寸法
※図示による
・
形状
※図示による
・
目地部の横力骨の納まり
※ガラスブロック製造所の仕様による
・図示による
・

20. ガラスブロック積み

6
内装改修工事

1. 改修範囲
既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示による
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲
※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図示による
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま
・図示による

2. 既存床の撤去及び下地補修
ビニル床シート等の除去
※仕上材のみ（接着剤とも）
・下地モルタルとも（・図示による ・除去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去工法
・機械的除去工法
・目荒し工法
既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。

3. 既存壁の撤去及び下地補修
間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り（全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示による）

4. 施工一般
材料のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1) (イ) (b) による

5. 製材
・JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材
施工箇所 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理

		※2級	※A種	・B種	
		※2級	※A種	・B種	

6. 造作用集成材
・JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材
施工箇所 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理

見え掛り面		※上小節	※A種	・B種	・
見え掛り面以外		※小節以上	※A種	・B種	・

・JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材
施工箇所 寸法 (mm) 等級 含水率 保存処理

		※1等	※10%以下 ・A種 ・B種	
		※1等	※10%以下 ・A種 ・B種	

・JAS 1083（製材）以外の製材
施工箇所 寸法 (mm) 材面の品質 防虫処理 含水率

		（ ） ・造作材の場合（※A種 ・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・
		（ ） ・造作材の場合（※A種 ・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種 ・

21. ガラス用フィルム

・造作用単板積層材
JAS 0701 に基づく造作用単板積層材
施工箇所 品名 寸法 (mm) 表面の品質 防虫処理

				・適用する ・適用しない ・適用する ・適用しない
--	--	--	--	------------------------------------

・JAS 0701 以外の造作用単板積層材
施工箇所 寸法 (mm) 表面の品質 含水率 防虫処理

			※14%以下 ・	・適用する ・適用しない ・適用する ・適用しない
			※14%以下 ・	・適用する ・適用しない

・JAS 3079 に基づく直交集成板
施工箇所 品名 強度等級 種別 接着性能 (使用環境) 樹種名 寸法 (mm)

--	--	--	--	--	--	--

・「合板の日本農林規格」による普通合板
施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理

	※5.5 ・		※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・	・適用する ・適用しない
--	-----------	--	------------	---	-----------------

・「合板の日本農林規格」による構造用合板
施工箇所 等級 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 厚さ (mm) 防虫処理 強度等級

	※2級以上 ・1級		※1類 ・特類	※C-D以上 ・	※12 ・	・適用する ・適用しない	・適用する （ ） ・適用しない
--	--------------	--	------------	-------------	----------	-----------------	------------------------

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板
施工箇所 厚さ (mm) 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理

			・1類 ・特類	・適用する ・適用しない
--	--	--	-----------	-----------------

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板
施工箇所 化粧板に使用する単板の樹種名 厚さ (mm) 接着の程度 防虫処理

			・1類 ・2類	・適用する ・適用しない
--	--	--	-----------	-----------------

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板
施工箇所 厚さ (mm) 接着の程度 単板の樹種名 化粧加工の方法 防虫処理

		・1類 ・2類		・適用する ・適用しない
--	--	-----------	--	-----------------

・パーティクルボード
施工箇所 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分 厚さ (mm)

		※13タイプ ・	※P又はM ・		※15 ・
--	--	-------------	------------	--	----------

・JAS 0360 に基づく構造用パネル
施工箇所 寸法 (mm)

--	--

・MDF
施工箇所 厚さ (mm) 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 接着剤による区分 難燃性による区分

--	--	--	--	--	--

造作材の化粧面の釘打ち
※隠し釘打ち
・釘頭埋め木
・つぶし頭釘打ち
・釘頭現し
諸金物
※かすがい、座金、箱金物、短冊金物（改修標準仕様書表6.5.3～5に示す程度の市販品 表8.20.1の（ ）程度）
・（形状： 寸法： 材質： ）

9. 接合具等

10. 接着剤
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
・

11. 防腐・防蟻処理
・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理
適用部材 保存処理性能区分

	・K2 ・K3 ・K4
	・K2 ・K3 ・K4
	・K2 ・K3 ・K4

12. 内部間仕切軸組及び床組み
・間仕切軸組に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※杉又は松
・床組みに用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※杉又は松

13. 窓、出入口その他
・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉
・

⑭ 軽量鉄骨天井下地（開口補強下地）
野縁等の種類
屋外
※25形 ・19形
屋内
※19形 ・25形
屋外の形式及び寸法
野縁受、つりボルト及びビーンサートの間隔
・図示による
・周辺部の端からの間隔
・図示による
・野縁の間隔
・図示による
・既存の埋込みインサート
・使用する ・使用しない
あと施工アンカーの施工後の確認試験
・行う
試験箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所
・（ ）箇所
引張試験にて確認する強度
※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/㎡以内の天井の場合は400N程度
・（ ）N
・※行わない
・つりボルトの間隔が900mmを超える場合（補強方法 ※図示による ・）
・天井のふところ高が3.0mを超える場合（補強方法 ※図示による ・）
・天井下地材における耐震性を考慮した補強（補強箇所 ※図示による ・）（補強方法 ※図示による ・）

15. 軽量鉄骨壁下地
スタッド、ランナーの種類
※改修標準仕様書表6.7.11によるスタッドの高さによる区分に応じた種類
・図示による
スタッドの高さが5.0mを超える場合
※図示による
出入口及びこれに準ずる開口部の補強
※改修標準仕様書6.7.4(5)による
・

16. ビニル床シート

種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考
※FS (複層ビニル床シート)	※無地 ・マーブル柄 ・柄物	※2.0 ・	

接合部の処理
※熱溶接工法 ・

17. ビニル床タイル

種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考
※KT (コパジションビニル床タイル)	・無地 ・柄物	※300×300 ・450×450	※2.0 ・3.0	
・TT (単層ビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・2.0 ・	
・FT (複層ビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・2.0 ・2.5 ・3.0	
・FOA (置敷きビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・500×500	・4.0 ・	
・FOB (薄型置敷きビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・	・	

18. 特殊機能床材
・帯電防止床シート
種類（ ）
性能（ ）
厚さ (mm)（ ）
・帯電防止床タイル
種類（ ）
性能（ ）
寸法 (mm)（ ）×（ ）
厚さ (mm)（ ）
・視覚障害者用床タイル
ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。
形状（ ）
・耐動荷重性床シート
種類（ ）
厚さ (mm)（ ）

備 考			塩竈市産業建設部まちづくり・建築課	設計 日新設計 株式会社	管理技術者 荒井 孝	作図年月日 R 7. 2. 1		承認	工事名 令7一依・単 旅客ターミナル施設排水設備改修工事	縮尺	図番 A-02
				施工	現場代理人				図面名 建築改修工事特記仕様書(5)	区分	

備 考			塩竈市産業建設部まちづくり・建築課	設計	管理技術者	作図年月日	承認	工事名	縮尺	図番
				日新設計 株式会社	荒井 孝	Ｒ 7 . 2 . 1		令 7－依・単 旅客ターミナル施設排水設備改修工事		A－04
				施工	現場代理人			図面名	区分	
								建築改修工事特記仕様書(7)		

10 ユニット及びその他の工事

フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	構法	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材
	・置敷式 ・支柱調整式	・500×500		・1.0G ・0.6G	・3,000N ・5,000N	・帯電防止床材 ・タイラーベツ

寸法精度
※標準仕様書20.2.2(2)(オ)(a)～(c)による
・以下による
 パネルの長さの寸法精度 ()
 パネルの平面形状 (角度) の寸法精度 ()
 フリーアクセスフロアの高さの寸法精度 ()
帯電防止性能
・評価値 (U) ≥0.6以上
・評価値 (U) ≥1.2以上
感電防止性能
漏えい抵抗 (R) ≥1×10⁶Ω

(20.2.3)

構造形式による種類	構成基材の種類 スラツ パネル	パネル表面仕上げ	遮音性 (dB/500Hz)	防火性能
・スタッド式 (内蔵) ・スタッド式 (露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式		・メラミン樹脂焼付又は 7ｸﾞﾙ樹脂焼付 ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃

パネル内に取付ける建具
・有り (※図示による)
・無し
パネル内に取り付ける建具のドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としは、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。
パネル材料のホルムアルデヒド放出量
※F☆☆☆☆

(20.2.4)

走行方向	操作方法による種類	パネル圧接装置の操作方法	総厚さ (mm)	パネル表面材 材質 仕上げ	遮音性 (dB/500Hz)
・平行方向 ・移動式 ・二方向 ・移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・ﾌﾗｯｼ式 ・ﾊﾝﾄﾞﾙ式		・銅板 ・焼付塗装 ・壁紙張り	・36未満 ※36以上

パネル表面仕上げ材の壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による。
ハンガーレールの取付け下地の補強
※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する
・図示による
パネルをランナーに取り付ける部品
※ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの
ハンガーレール及びランナー
※パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの

(20.2.5)

表面材の材料	脚部 種類	ドアエッジ 材質
・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ	※製造所の仕様による ・アルミニウム製 ・ステンレス製

材料の種類及び仕上げ
・SUS304 表面処理 ※HL程度
・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表14.2.2による種別 () 種)
・アルミニウム 表面処理 (※標準仕様書表14.2.1による種別 () 種)
 色合い 標準色 () 特注色 ()

手すりの握り部分

材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	備考
・集成材 (材質:)	・クリアラッカー	・35程度 ・45程度		
・ビニル製		・35程度 ・45程度		

2. 可動間仕切

3. 移動間仕切

4. トイレブース

5. 手すり

6. 階段滑り止め

(20.2.7)

材質
※ステンレス製
・黄銅製押出型材
・アルミニウム製押出型材
・
形状
※タイヤ型 (タイヤの材質: ゴム又は合成樹脂合等)
・タイヤレス型
寸法 (幅)
・35mm程度 40mm程度 50mm程度
取付け工法
※接着工法
・埋込み工法
(20.2.9)
・黒板及び
ホワイトボード
区分
※焼き付け
種類
※鋼製黒板
・ほうろう黒板
・
色
※緑
・ホワイトボード
(20.2.10)
取付け箇所 ()
寸法 (mm)
・図示による
厚さ (mm)
※5
(20.2.11)
衝突防止表示
・設置する (設置場所: ※図示による)
 形状・寸法 (・30φ)
 材質 (※ステンレス製)
・設置しない
誘導標識、非常用進入口等の表示
※消防法に適合する市販品
室名、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 (案内用図記号はJIS Z 8210による)
※図示による
取付箇所
(20.2.12)
材質及び仕上げ
○SUS304 (スリッ止め加工 ※あり ○なし)
・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき (※標準仕様書表14.2.2による種別 (※C種 種))
※小田原鋼材㈱: B026B・B426J (段数6) 同等品
(20.2.13)
適用安全使用温度
工法
※鋼製ユニット煙突 (煙突用成形ライニング材)
(20.2.14)

形式	操作方法	操作方法の種類	スラツの種類	スラツ幅	ボックス・レールの材質	幅・高さ
・横形	・手動 ・電動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※7ｸﾞﾙ合金製	※25	※鋼製	・図示による
・縦形	・手動 ・電動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・7ｸﾞﾙスラツ ・ｸﾞﾙｽラツ	・80 ・100	※7ｸﾞﾙ合金製	・図示による

縦型ブラインドのスラツの材質
・アルミスラツ 焼付け塗装仕上げ
・クロススラツ 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工

操作方法	スクリーンの材質	その他の材料	幅・高さ 取付箇所	品質等
・スプリング式 ・コード式 ・電動式	・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製	※製造所の仕様	・図示による	・

スクリーンの仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの

(20.2.16)

形式	開閉操作	ひたの種類	生地の種類、 品質、特殊加工等	取付け 箇所
・ｼﾝｸﾞﾙ・片引き ・ﾀﾞﾌﾞﾙ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・つまみひた ・箱ひた、片ひた ・ﾌﾟﾚｰﾝひた		・図示による

生地の仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの
暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり
※300mm以上
・

7. 黒板及び
ホワイトボード

8. 鏡

9. 表示

⑩ タラップ

11. 煙突ライニング

12. ブラインド

13. ロール
スクリーン

14. カーテン

15. カーテンレール

(20.2.16)

材料による区分
・アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材
※ステンレス製
強さによる区分
※10-90
仕上げ
※アルマイト
形状
※角形
材質
・集成材 (仕上げ:)
※アルミニウム製 押出し型材 (市販品)
標準仕様書表14.2.1による種別
※BC-1種 BC-2種
色合い
・標準色 () 特注色 ()
・銅製 (仕上げ:)
(20.2.16)

材質	寸法	形式	外枠	内枠
※アルミニウム製	※450×450 ・600×600	○一般形 ・気密形	○屋内外用 ○屋内用	○縦線タイプ ○横線タイプ

材質	寸法	形式	備考
※アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ※600×600	※一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用 ・鍵付き

密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする。

材質	受け枠	備考
※塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼 (SUS304) 製	※ステンレス鋼 (SUS304) ・硬質アルミニウム合金	

材質	寸法 (mm)	備考
・流し台	・1200 ・1500 ・1800	・550 ・600 ・650 800 850 市販品 トラップ付き 天板ステンレス製
・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650 ・620 ・670 市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
・つり戸棚	・1200 ・900	・450 ・500 ・700 市販品
・水切り	・1200 ・900 ・600	— — — 市販品 ステンレス製 ・1段式

形状
※図示による

材質	形式	高さ (m)	操作方法	固定方法	備考
※アルミニウム合金製	※テーパード式 ・同一断面式		※ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式	

材質
・ステンレス製 (SUS 304)
・

形式	材質	柱径、肉厚 (mm)	高さ (mm)
・上下式鎖内蔵式・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製	・	・

フェンスの種類
・ビニル被覆エキスパンドフェンス
・樹脂塗装メッシュフェンス
・鋼管フェンス
・アルミフェンス
高さ
・図示による

材質	種類	質量区分	備考
・間知石	・花こう岩 ・凝灰岩	—	—
・コンクリート 間知ブロック	—	・A ・B	

積み方
※谷積み 布積み
目塗り
・図示による
伸縮調整目地
材質
・図示による
厚さ
・図示による

種類	規格等	JISによる種類
・鋼製書架 ・鋼製物品棚	JIS S 1039 の規格による	・1種 2種 3種 ・4種 5種 6種

16. ブラインド
ボックス
及びカーテン
ボックス

⑪ 天井点検口

18. 床点検口

19. くつふきマット

20. 流し台ユニット

21. 旗竿

22. 旗竿受金物

23. 車止めさく

24. フェンス

25. 間知石及び
コンクリート
間知ブロック
積み

(20.4.2、3)

26. 鋼製書架及び
物品棚

27. 屋内掲示板

28. 洗面カウンター

29. 防煙垂れ壁

30. 屋外掲示板

31. 収納家具

⑫ 鋳鉄製
マンホール蓋

1. 一般事項

2. 測定対象化学
物質

3. 測定方法

11 総
揮
発
性
有
機
化
合
物
(
T
V
O
C
)
測
定
仕
様
書

4. 測定する室

5. 測定結果等報
告書の提出

6. その他

枠の材質
※アルミニウム製
・
表面の材質
※塩ビ発泡シート張り
・
材質
・メラミン樹脂化粧板張り (心材: 集成材)
・人工大理石
奥行き (mm)
・約450 約600
・固定式

材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考
※ 納入り磨き板ガラス ・ 繰入り磨き板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き

・可動式

種類	材質	高さ (mm)	備考
・垂直降下式 (巻取り型)	※不燃布 (不燃認定品)	※500 ・800	ガイドレール ※固定式 (壁埋込型) ・可動式 (天井収納型)
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800	表面仕上げ ※天井材張り

降下機構
煙感知器連動及び手動開放装置 (埋込型)

照明器具
・有り 無し
施錠
・有り 無し
製造所
・
合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
※F☆☆☆☆
材質、形状、寸法
※図示による
※カネソウ㈱: SMK Y-600×800-a 同等品

試験採取および測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」(以下「厚生省の測定方法」という。)の新築住宅の例に準拠して行う。
測定対象化学物質は、下記4 1)、2)の区分に従い、表の①から⑬の14物質及びTVOC又は表の①から⑨の9物質及びTVOCとする。
1) クロマトグラム上で「n-ヘキサン」から「n-ヘキサデカン」までの部分に検出される物質のピーク値を「トルエン」に換算した値をTVOC濃度とする。
2) トルエン換算で 2.0μg/m3 未満のピークは測定の対象としない。
3) 上位10ピークについて物質を特定して濃度の測定を行う。

表 測定対象化学物質及び室内濃度指針値		
化学物質名	室内濃度指針値	
①ホルムアルデヒド	100 μg/m3	0.08 ppm
②トルエン	260 μg/m3	0.07 ppm
③キシレン	200 μg/m3	0.05 ppm
④エチルベンゼン	3,800 μg/m3	0.88 ppm
⑤スチレン	220 μg/m3	0.05 ppm
⑥パラジクロロベンゼン	240 μg/m3	0.04 ppm
⑦テトラデカン	330 μg/m3	0.04 ppm
⑧アセトアルデヒド	48 μg/m3	0.03 ppm
⑨ノナナール	(暫定)41 μg/m3	0.007 ppm
⑩フタル酸ジ-n-ブチル	17 μg/m3	0.0015 ppm
⑪フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	100 μg/m3	0.0063 ppm
⑫クロロピリホス	1 μg/m3	0.00007 ppm
⑬ダイアジノン	0.29 μg/m3	0.00002 ppm
⑭フェノブカルブ	33 μg/m3	0.0038 ppm
⑮総揮発性有機化合物 (TVOC)	400 μg/m3	(暫定目標値)

1) 14物質及びTVOC濃度を測定する室等
・室名:
2) 9物質及びTVOC濃度を測定する室
・室名:
・ 屋外 (周囲の建物から離れた場所1か所)

次の事項を記載した報告書を2部提出する。
1) 測定結果 (アセトアルデヒドについては、試験採取時の気温が20℃に満たない場合には、「厚生省の測定方法」に定める計算式で20℃、湿度50%に、ホルムアルデヒドについては25℃、湿度50%に補正した濃度を報告すること。)
2) 試験採取時の状況 (気温・湿度 (屋外、室内)、天候、風の状況、日射進入状況、採取年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成から試験採取までの日数)
3) 試験採取方法、測定方法、使用した測定機器
4) TVOC濃度の算出に使用したクロマトグラムの写し

表の化学物質①から⑮のうち、いずれかの物質の濃度が室内濃度指針値を超える場合は、工事目的物の引渡しを受けない。
TVOCの測定の結果、暫定目標値を超える場合は、発生原因の究明及び汚染物質の発生を低減するための対策について、協議を行うこと。

備考

考

塩竈市産業建設部まちづくり・建築課

設計

日新設計 株式会社

管理技術者

荒井 幸

作図年月日

R 7 . 2 . 1

承認

工事名

令 7-依・単 旅客ターミナル施設排水設備改修工事

縮尺

図番

A-06

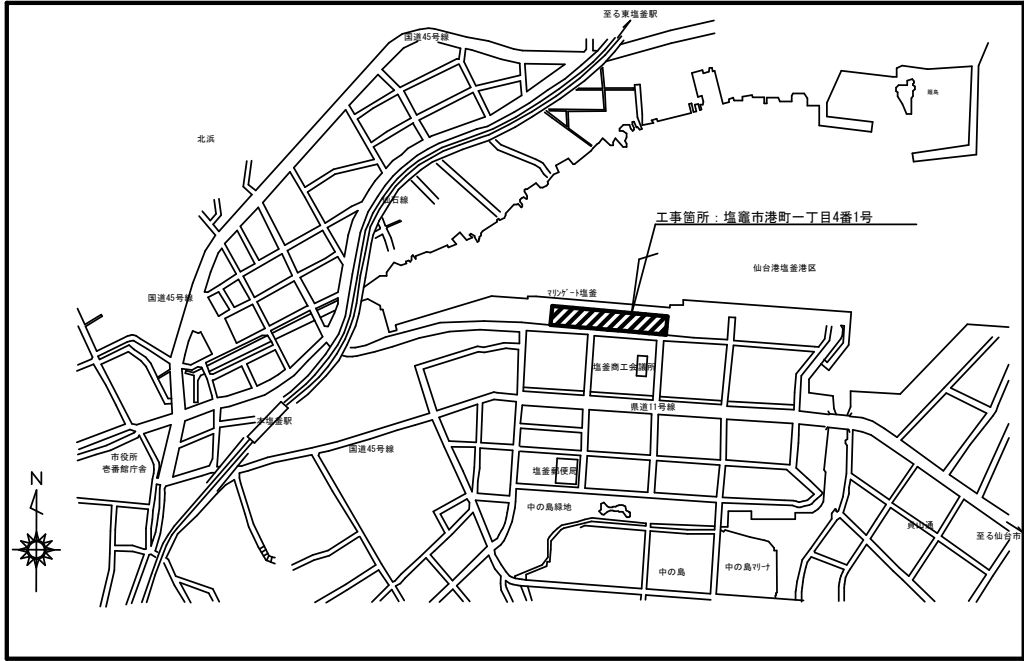
施工

現場代理人

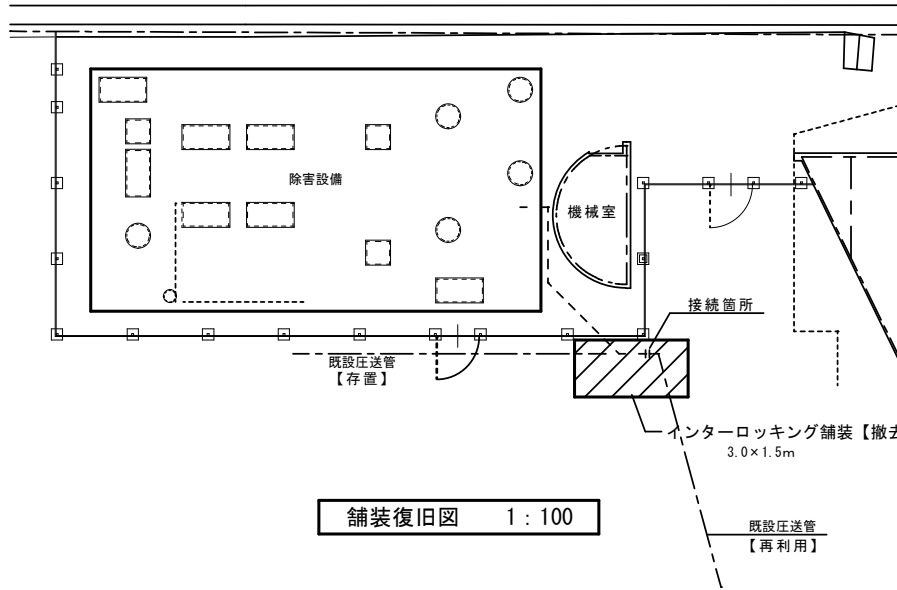
図面名

建築改修工事特記仕様書 (10)

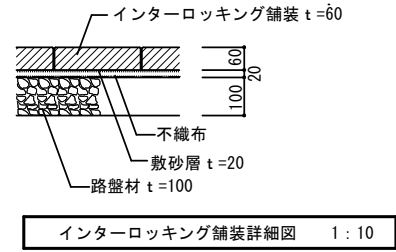
区分



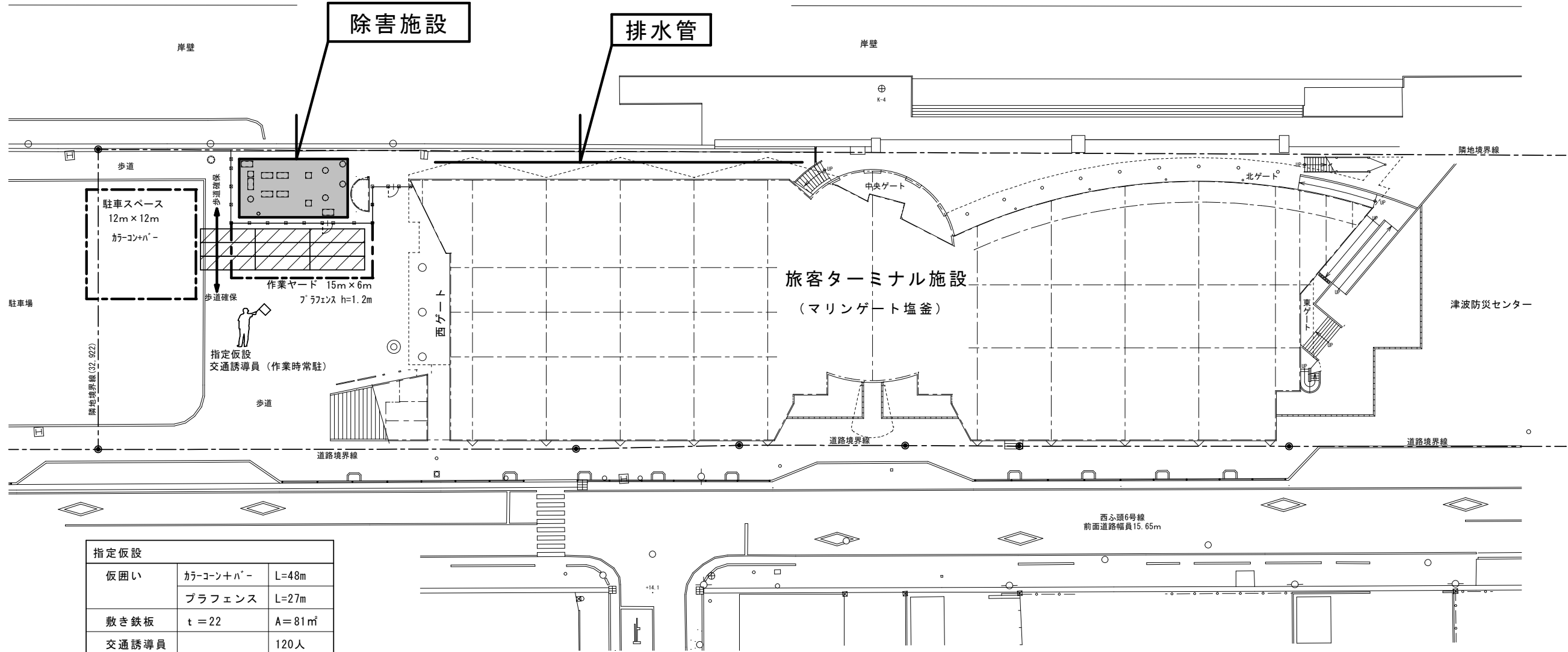
案内図



舗装復旧図 1:100

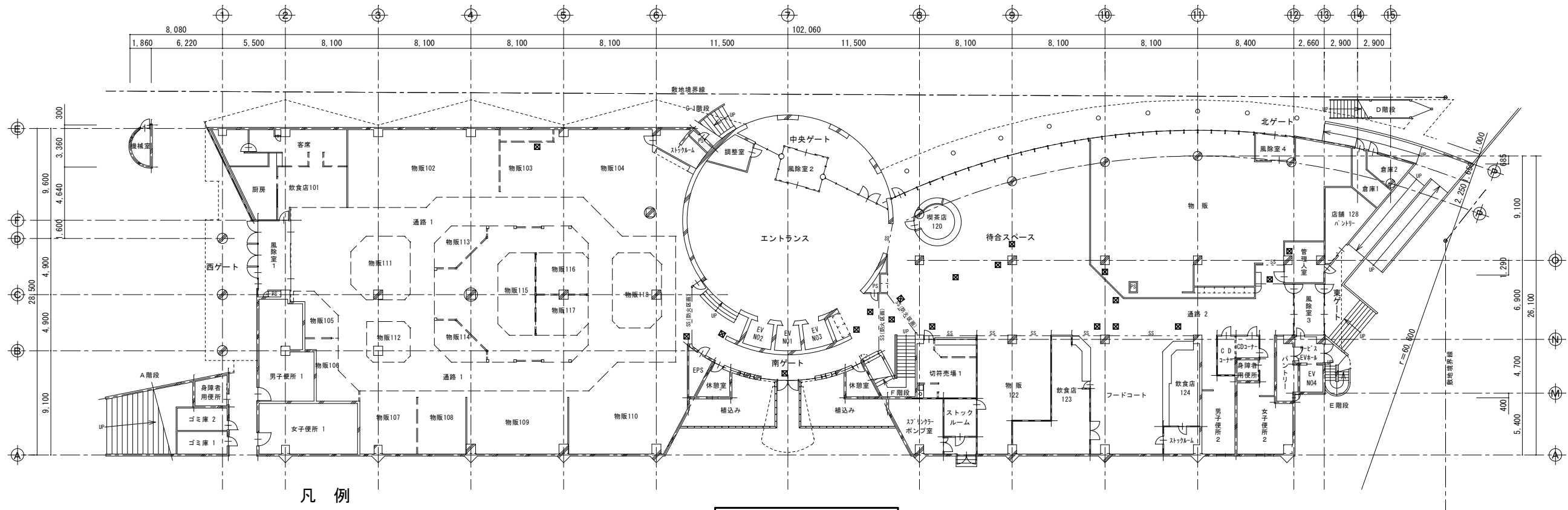


凡例
インターロッキング舗装



配置図 1:250

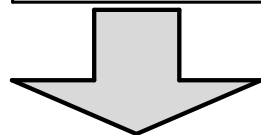
指定仮設		
仮囲い	カーコンパネ	L=48m
	ブラフェンス	L=27m
敷き鉄板	t = 22	A=81㎡
交通誘導員		120人



凡 例

□ 既存天井点検口：450角

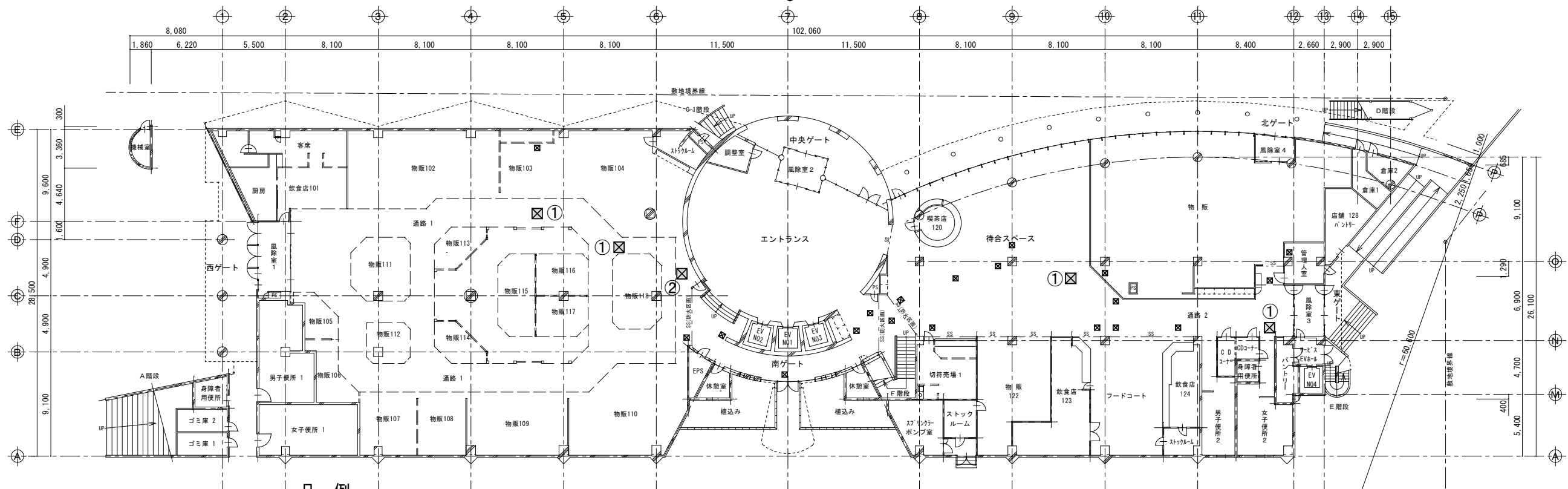
1階平面図（改修前） 1：200



＜特記事項＞

※アスベスト含有の分析調査は下記のか所とする。（各1検体採取分析）

- ①石膏ボード
- ②ロックウール吸音板
- ③外壁塗材



凡 例

□ 既存天井点検口：450角

□ ① 天井点検口①：450角(開口補強共)【新設】
(天井仕上げ；石膏ボードt=9.5+ロックウール化粧吸音板t=9)

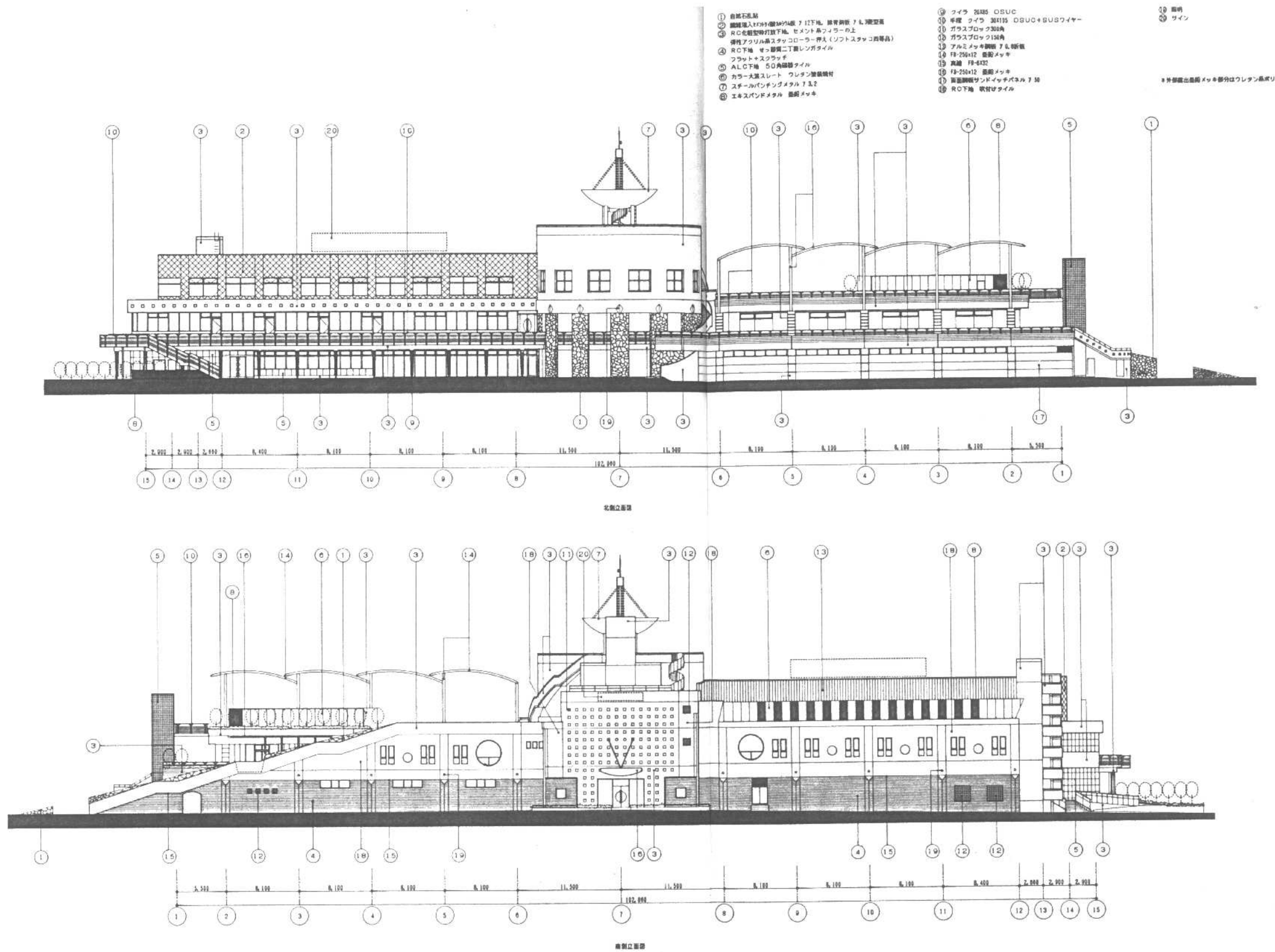
□ ② 天井点検口②：450角(開口補強共)【新設】
(天井仕上げ；石膏ボードt=9.5 EP塗装)

1階平面図（改修後） 1：200

備考				塩竈市産業建設部まちづくり・建築課	設計	管理技術者			作図年月日			承認	工事名	縮尺	図番
					日新設計 株式会社	荒井 孝			R 7 . 2 . 1						
					施工	現場代理人							図面名	区分	
													1 階平面図（改修前・改修後）		



備考			塩竈市産業建設部まちづくり・建築課	設計 日新設計 株式会社	管理技術者 荒井 孝	作図年月日 R 7 . 2 . 1	承認	工事名 令 7－依・単 旅客ターミナル施設排水設備改修工事	縮尺 1 / 2 0 0	図番 A - 09
				施工	現場代理人				図面名 1 階 仮 設 計 画 図	区分



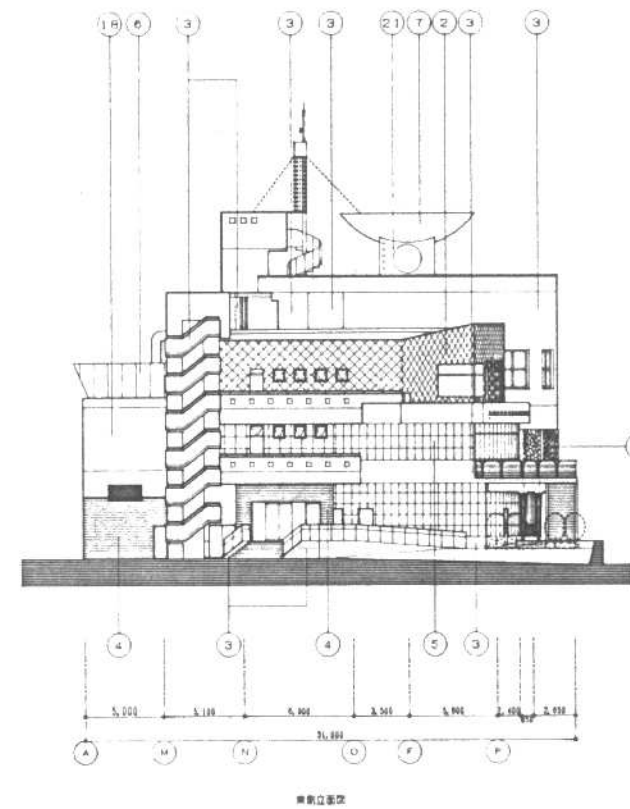
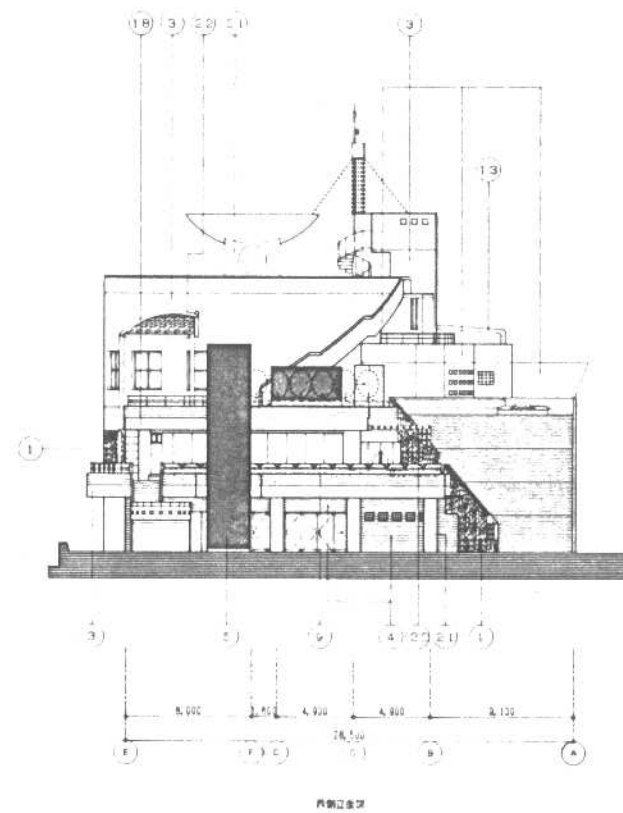
備				塩竈市産業建設部まちづくり・建築課	設計 日新設計 株式会社	管理技術者 荒井 孝	作図年月日 R 7 . 2 . 1	承認	工事名 令 7 - 依・単 旅客ターミナル施設排水設備改修工事	縮尺 1 / 2 0 0	図番 A - 10
考					施工 ※	現場代理人 ※			図面名 立面図 (1) (参考図)	区分	

- ① 自然石瓦葺
- ② 縦張り入付(約180×46)7丁、縁高約6、6.3型瓦葺
- ③ R化型型材付地下地、タイル敷
滑性アクリル系スタックコーティング剤
（フロアの土）
- ④ RC地下 セットアップコンクリート
フラットスラブタイプ
（伸長シフトスタック板等品）
- ⑤ AC付地下 S口角部設置
- ⑥ カラー大底スレート ウレタン防水
- ⑦ スチールパンチングメタル1mm
- ⑧ エキスパンデメント 樹脂製

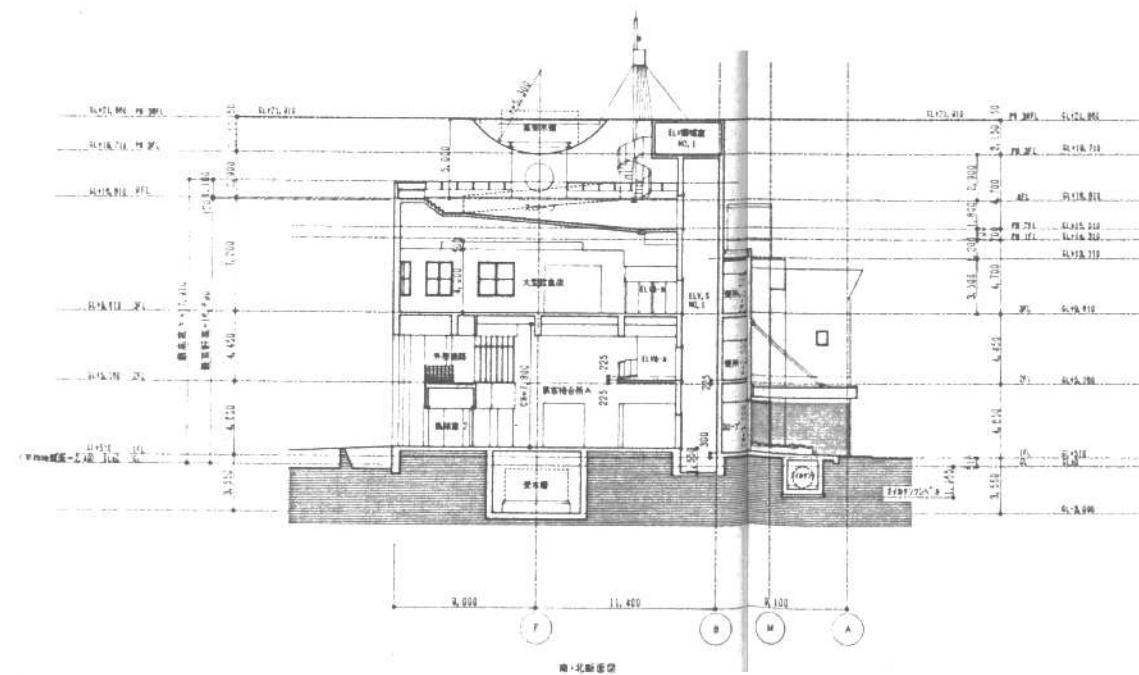
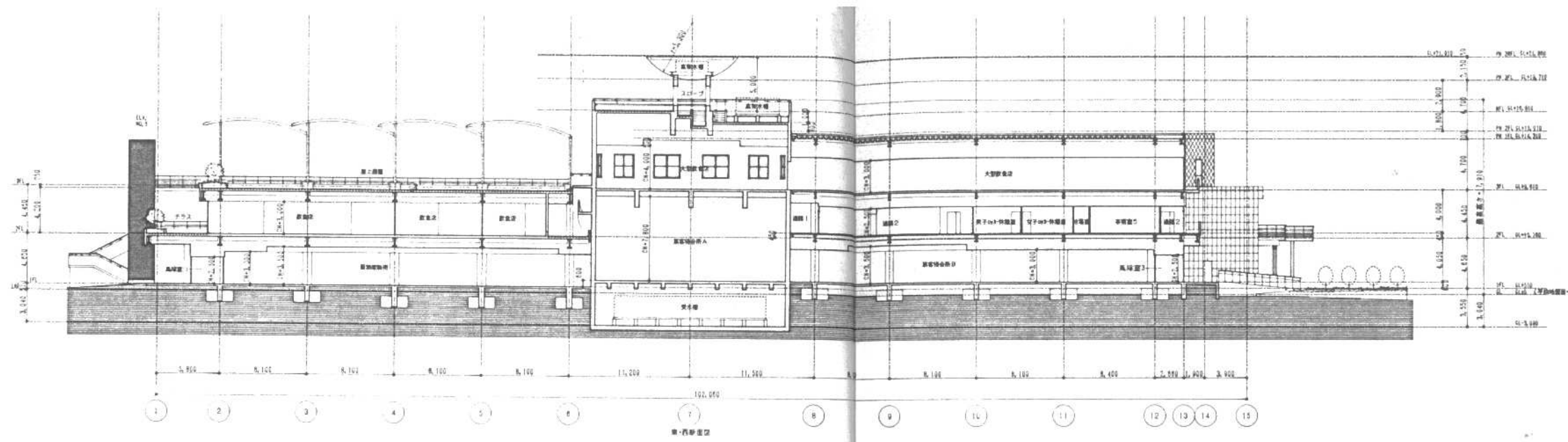
- ⑨ クイラ 20mm 105円
- ⑩ 手榴 10mm 30mm 105円
- ⑪ ガラスブロック 150角
- ⑫ ガラスブロック 150角
- ⑬ アルミメッキ 鋼板 7.6mm厚
- ⑭ FR-750at 巻取メッキ
- ⑮ 鋼板 FR-750
- ⑯ FR-750at 巻取メッキ
- ⑰ 鋼板鋼板サンドイッチパネル 750
- ⑱ RC下地 吹付けタイル

- ⑭ 照明
 ⑮ サイン(別達)
 ⑯ Rつ下地 AEF壁紙
 ⑰ スチール蓋船メッキ

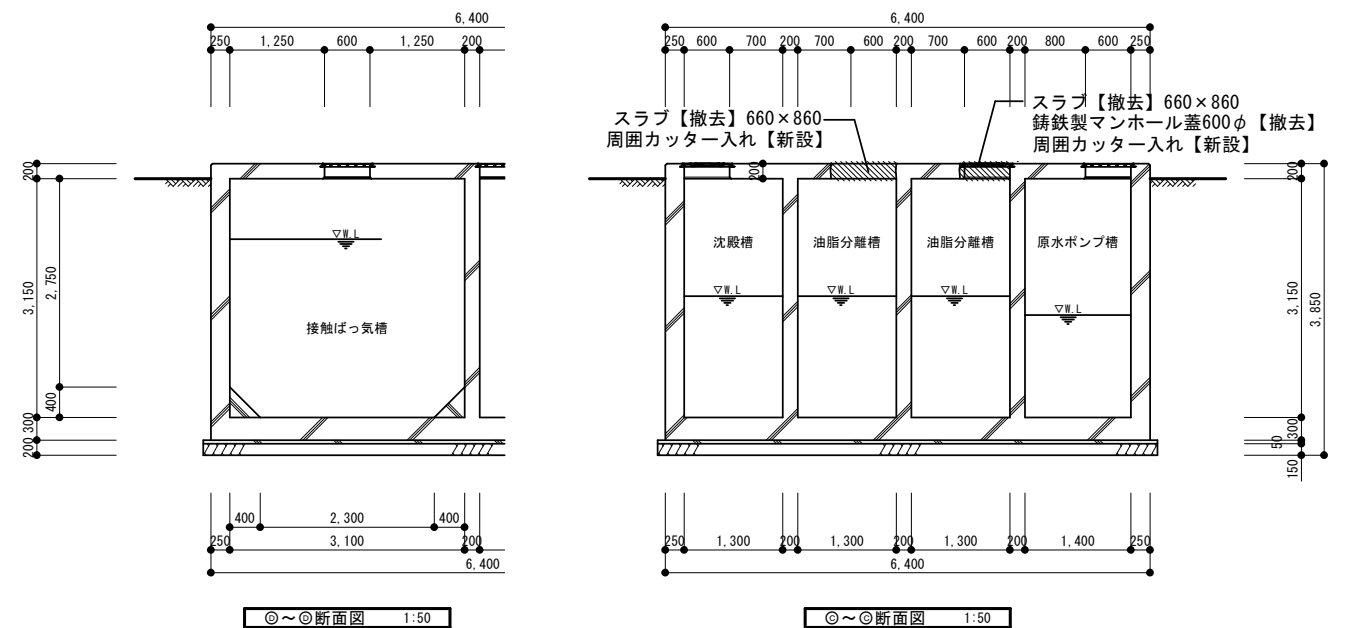
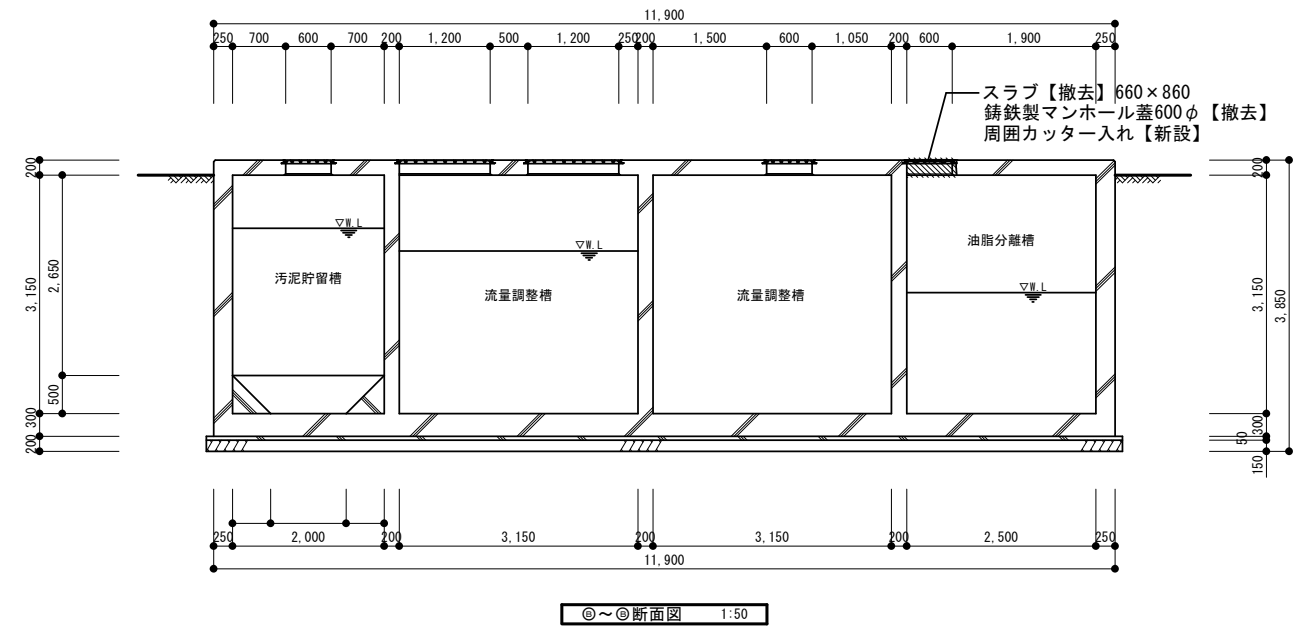
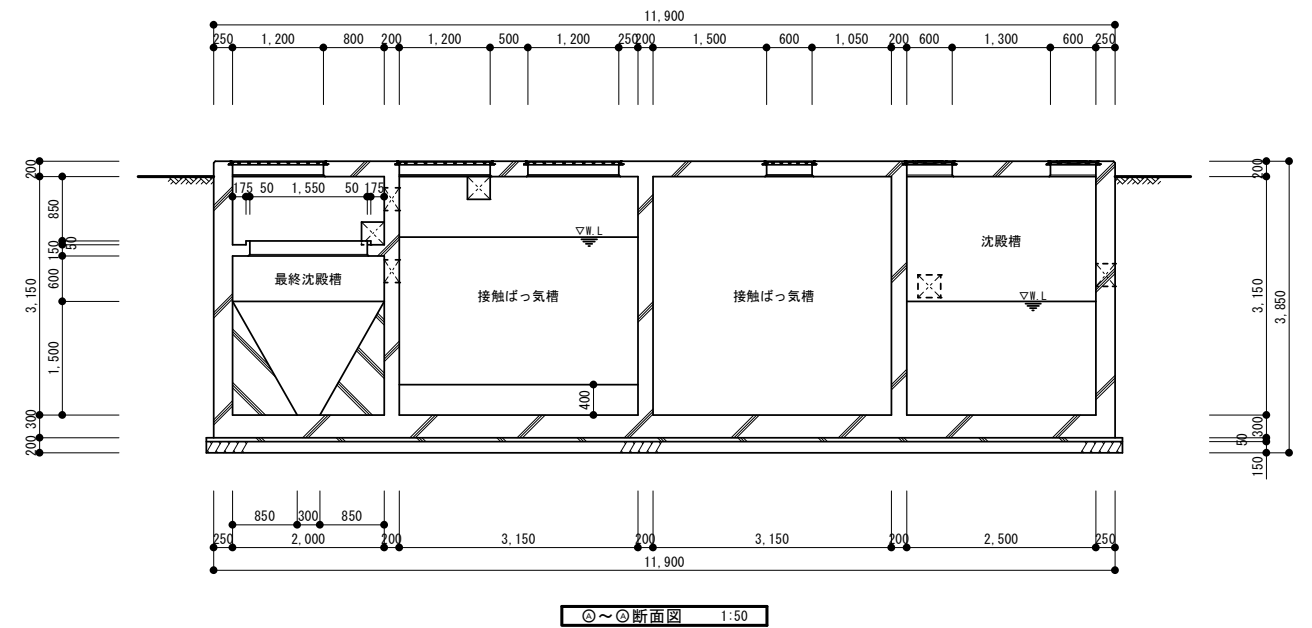
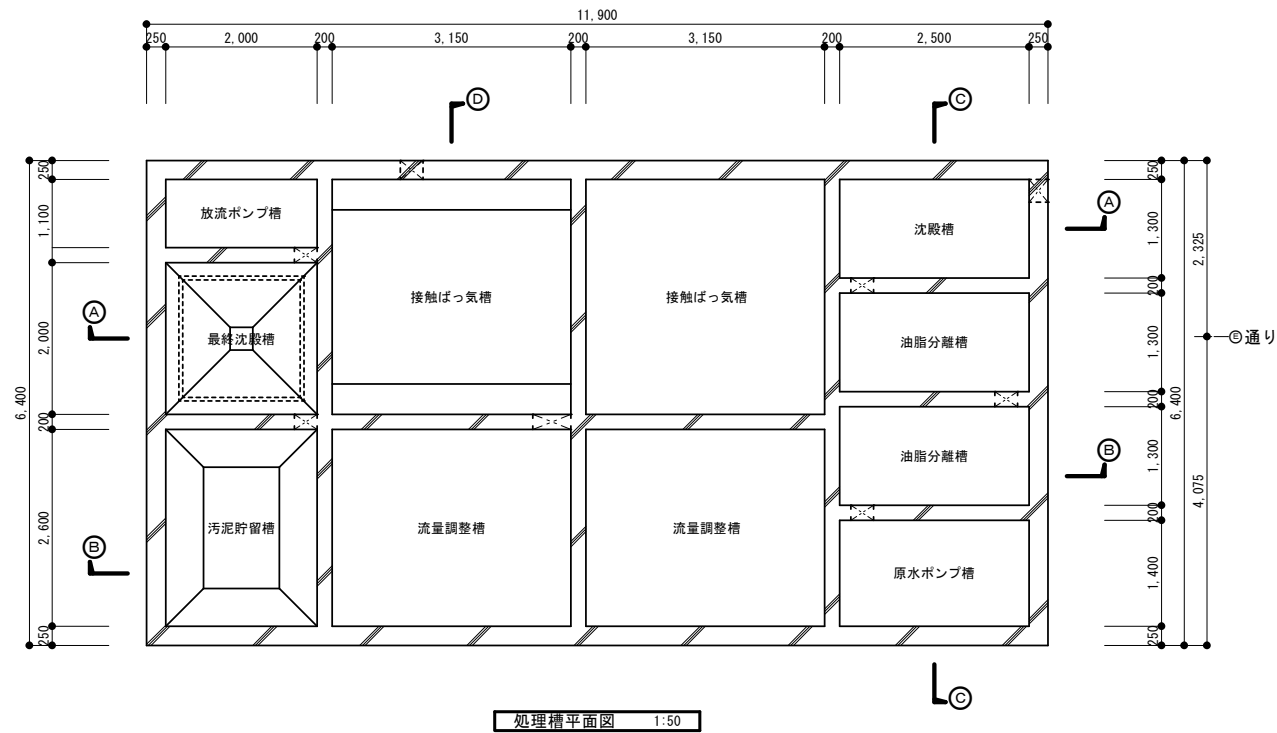
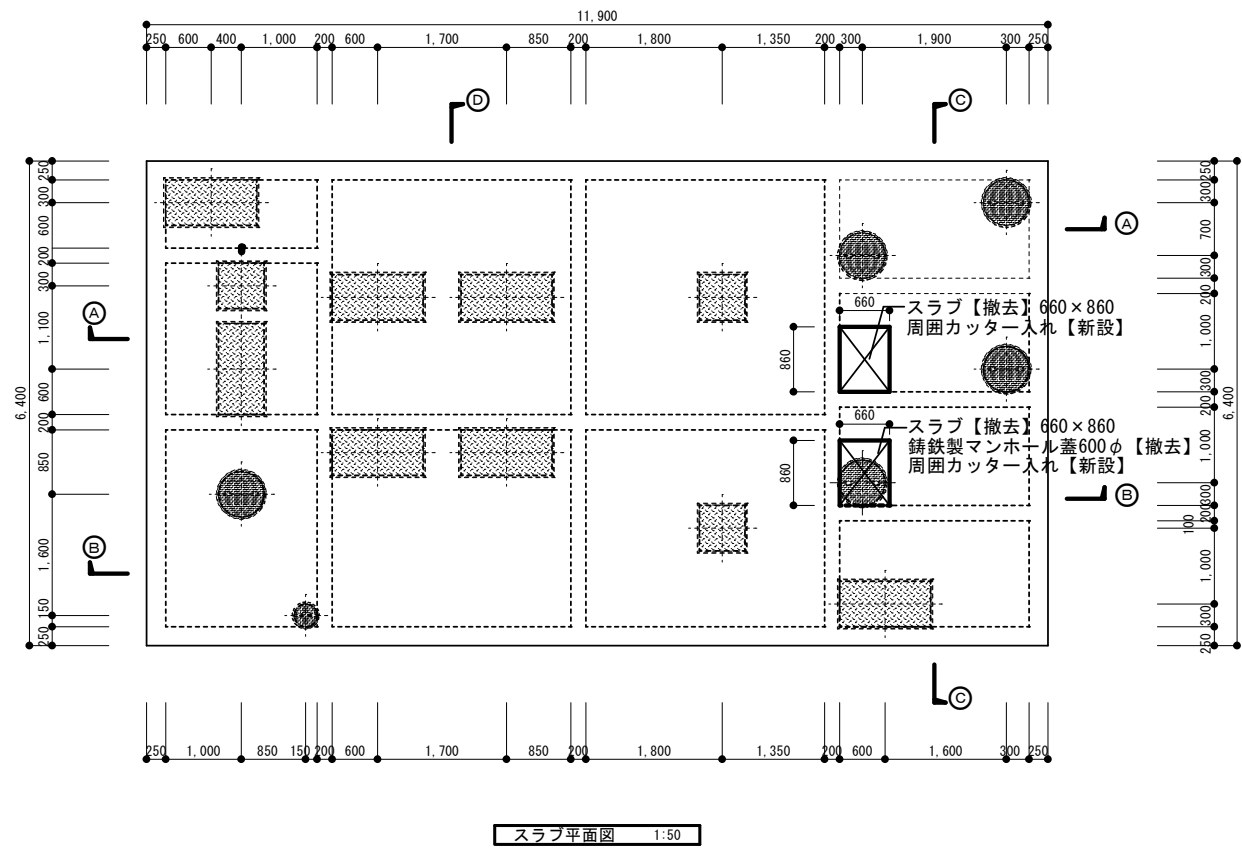
* 外観露出量約メッキ部分はワレタン系ポリユリア塗膜 とする



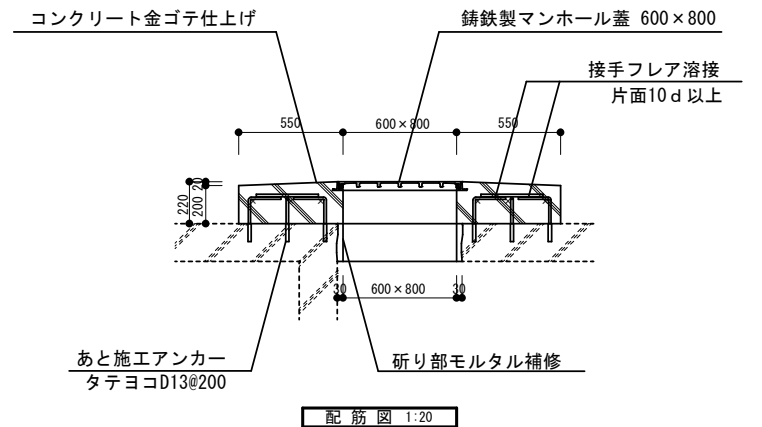
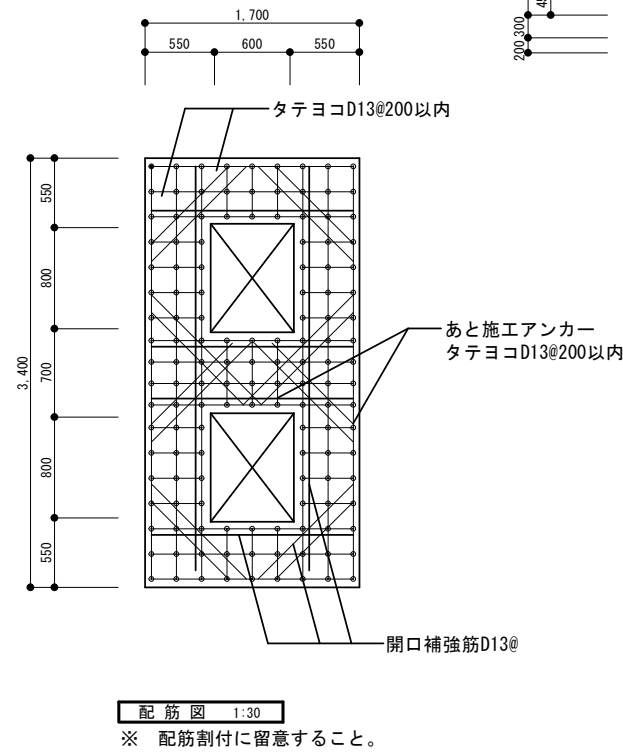
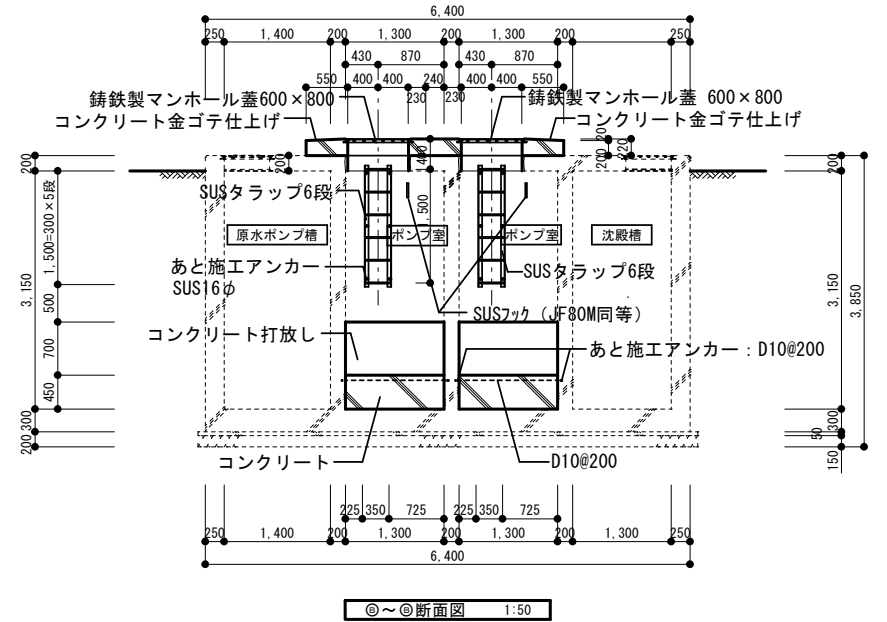
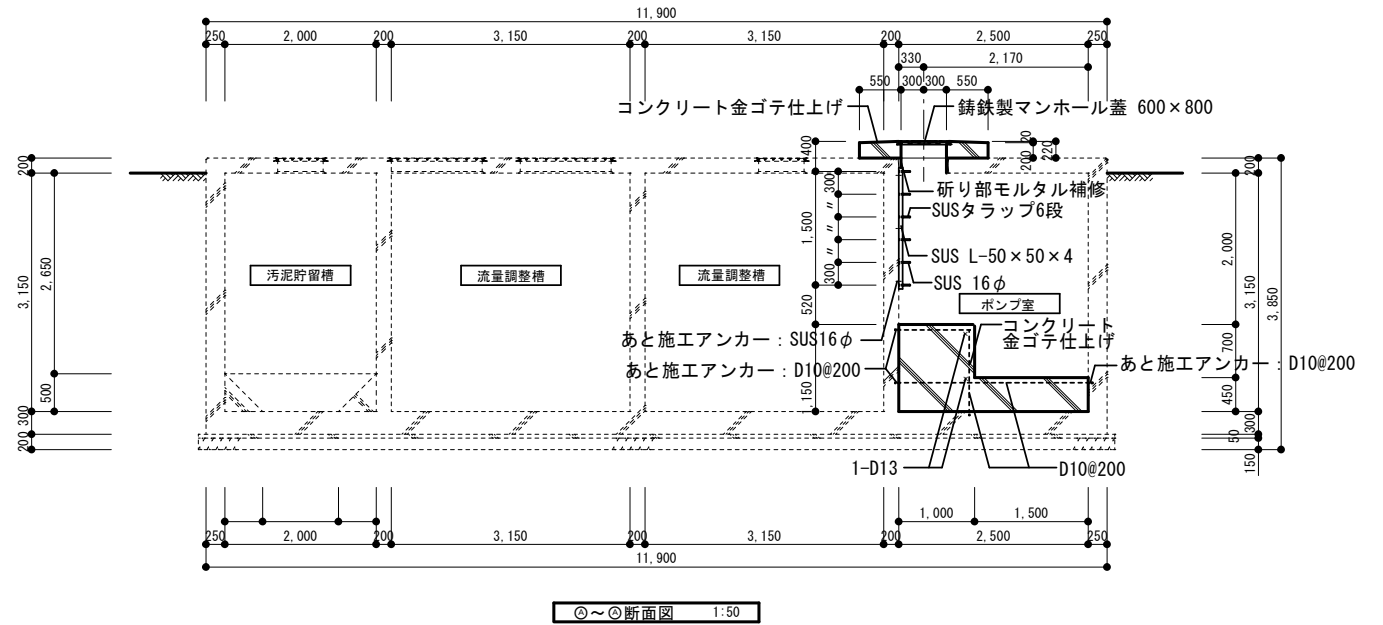
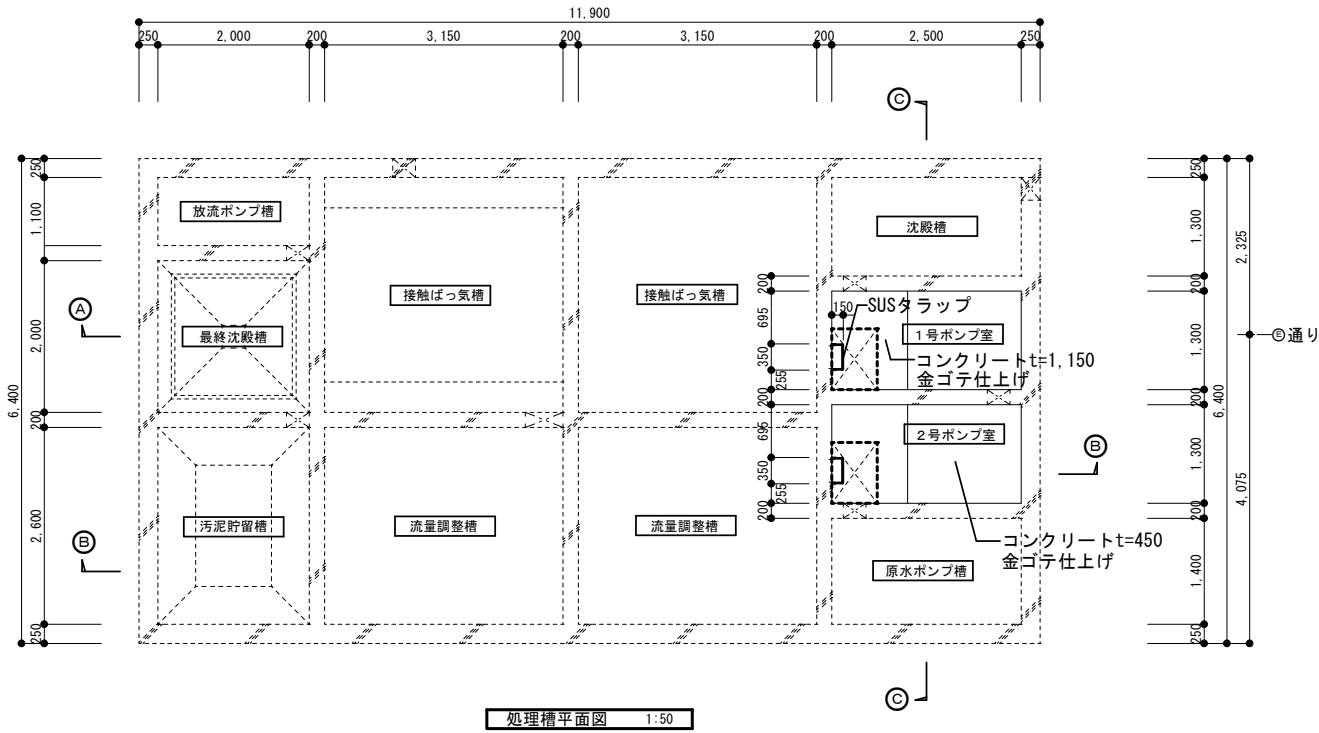
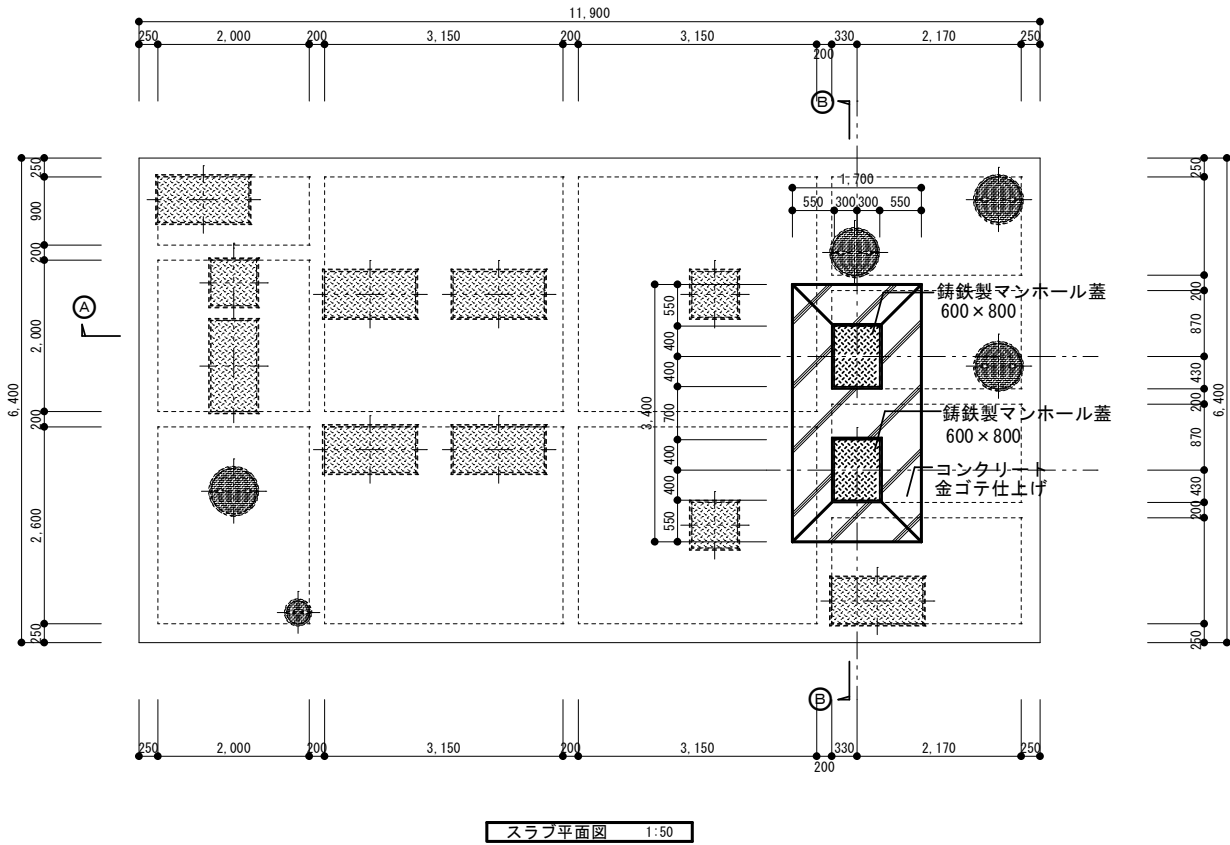
備 考			塩竈市産業建設部まちづくり・建築課	設計 日新設計 株式会社	管理技術者 荒井 孝	作図年月日 R 7 . 2 . 1	承認	工事名 令 7－依・単 旅客ターミナル施設排水設備改修工事	縮尺 1 / 2 0 0	図番 A－11
				施工 ※	現場代理人 ※				図面名 立面図 (2) (参考図)	区分



<div>備考</div>	<div>塩竈市産業建設部まちづくり・建築課</div>	<div>設計 日新設計 株式会社</div> <div>施工 ※</div>	<div>管理技術者 荒井 孝</div> <div>現場代理人 ※</div>	<div>作図年月日 R 7 . 2 . 1</div>	<div>承認</div>	<div>工事名 令 7 一 依 ・ 単 旅客ターミナル施設排水設備改修工事</div> <div>図面名 断面図（参考図）</div>	<div>縮尺 1 / 2 0 0</div> <div>区分</div>	<div>図番 A - 12</div>
---------------	------------------------------	---	--	------------------------------	---------------	--	---------------------------------------	----------------------



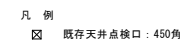
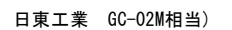
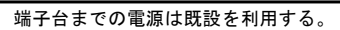
備 考			塩竈市産業建設部まちづくり・建築課	設計	管理技術者	作成年月日	承認	工事名	縮尺	図番
				日新設計 株式会社	荒井 孝	R 7 . 2 . 1				
				施工	現場代理人			図面名	区分	
								排水設備図（改修前）		



<特記事項>
※ コンクリート打ち継ぎ面は目粗し処理をすること。
※ あと施工アンカーは、接着系とする。

備					塩竈市産業建設部まちづくり・建築課	設計	日新設計 株式会社	管理技術者	荒井 孝	作図年月日	R 7. 2. 1	承認		工事名	令 7ー依・単 旅客ターミナル施設排水設備改修工事	縮尺	1 / 5 0	図番	A - 14
考						施工		現場代理人						図面名	排水設備図 (改修後)	区分			

[illegible]

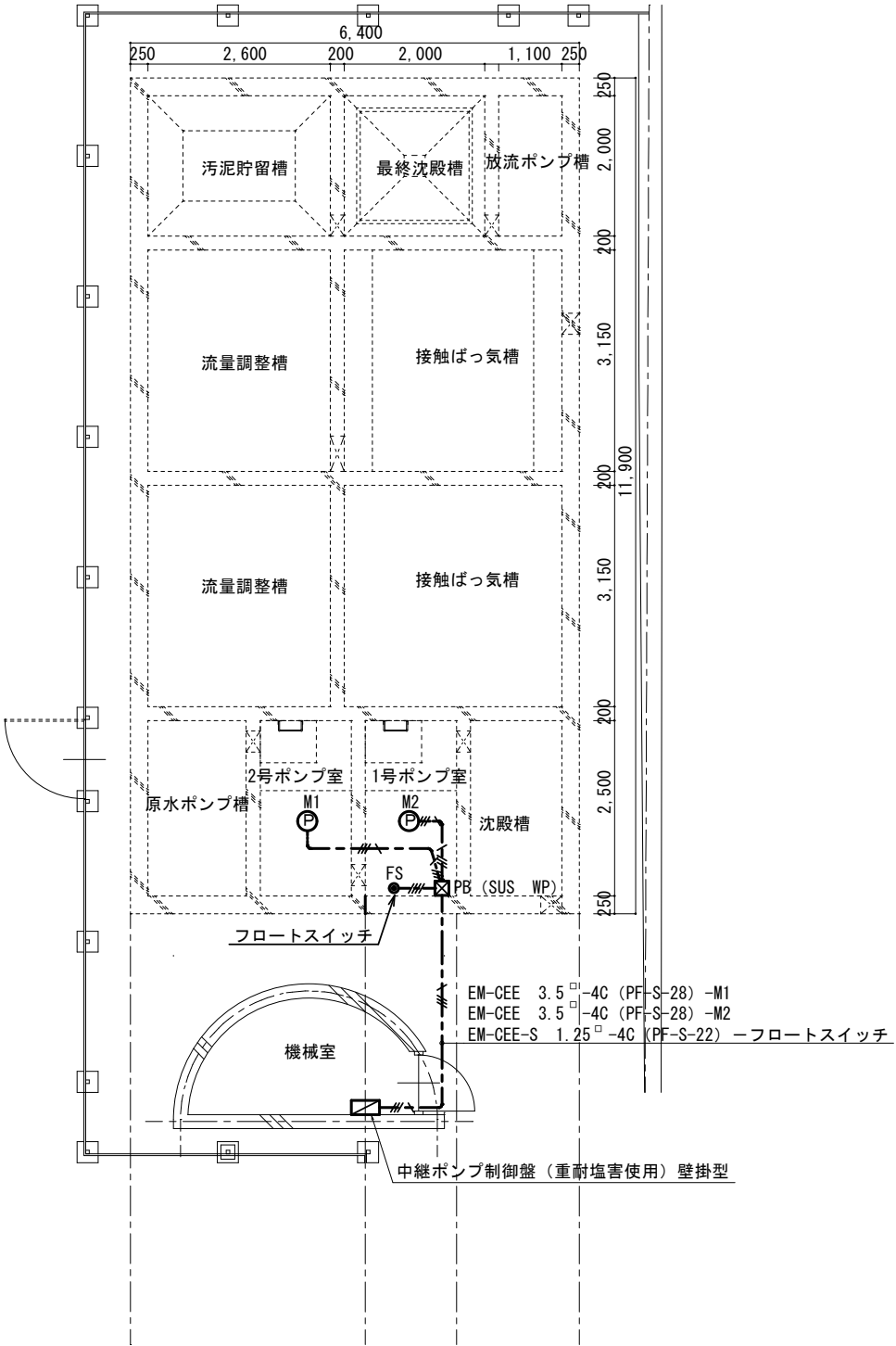
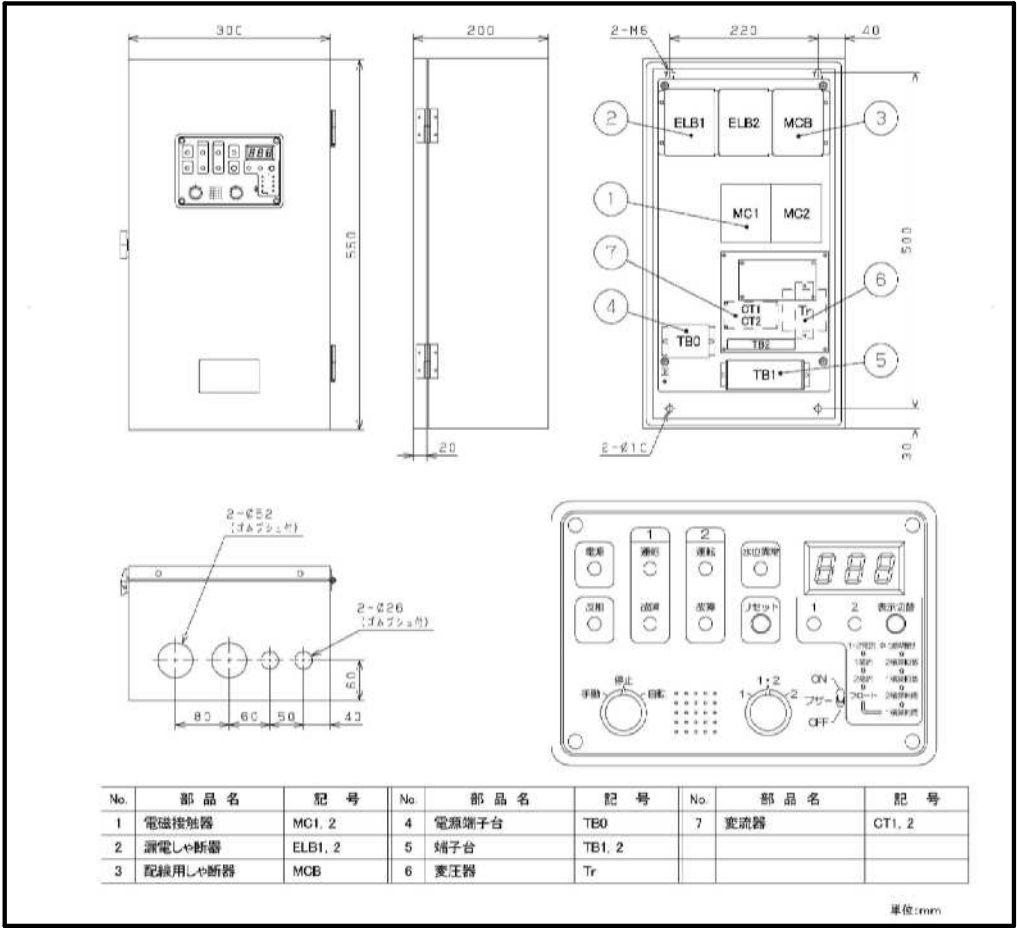


- ※ PB=PB WP SUS (200X200X100) とする。
 ※ G16=ステンレス電線管 厚鋼とし、外壁近似色塗装仕上げとする。

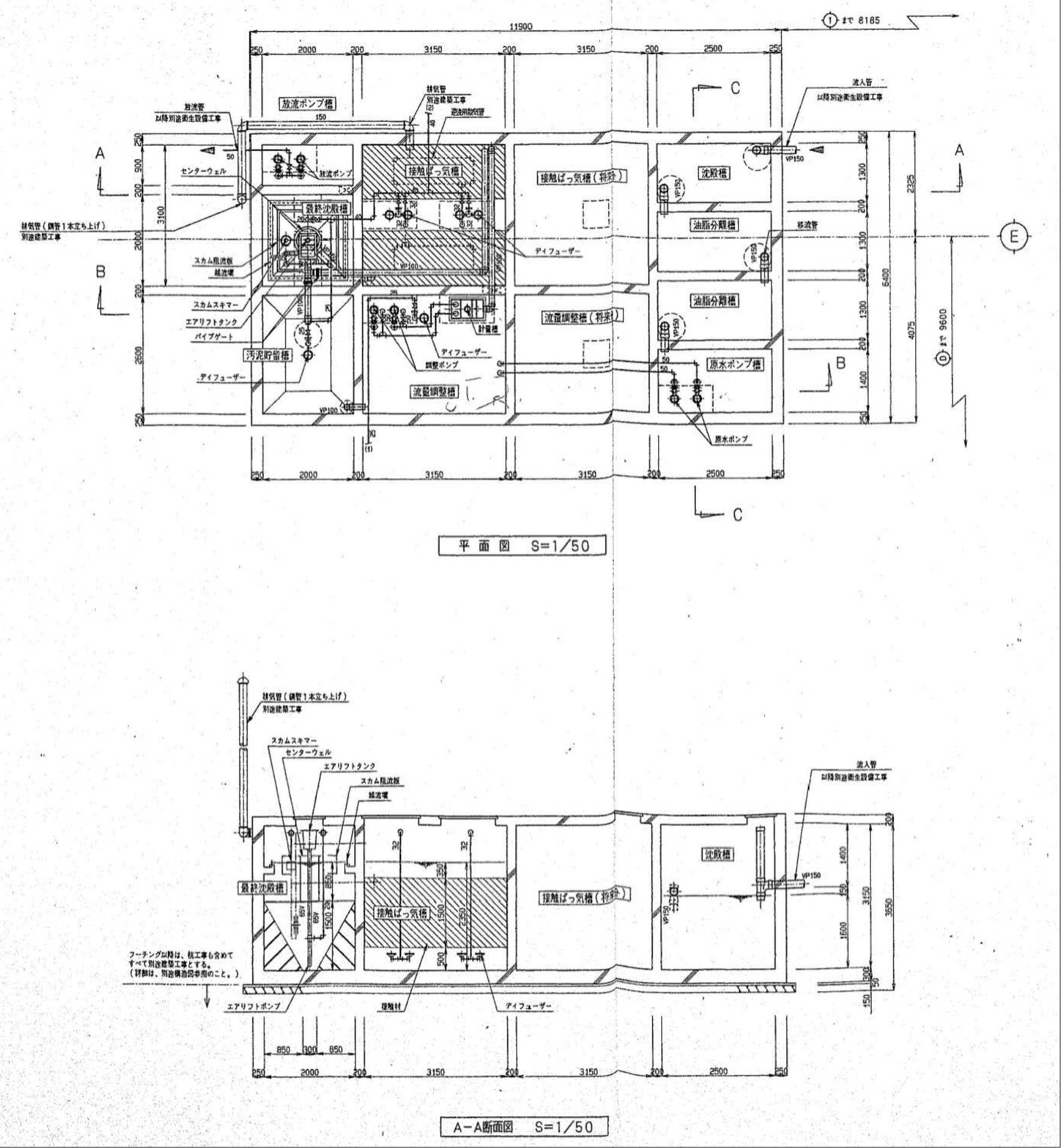
備 考			塩竈市産業建設部まちづくり・建築課	設計	管理技術者	作図年月日	承認	工事名	縮尺	図番
				日新設計 株式会社	荒井 孝	R 7 . 2 . 1		令 7－依・単 旅客ターミナル施設排水設備改修工事	1 / 2 0 0	E-02
				施工	現場代理人			図面名 1階平面図	区分	

M — 0 1

中継ポンプ制御盤（参考図）



排水設備平面図 S=1/50



◎槽内処分参考値（以下共通）

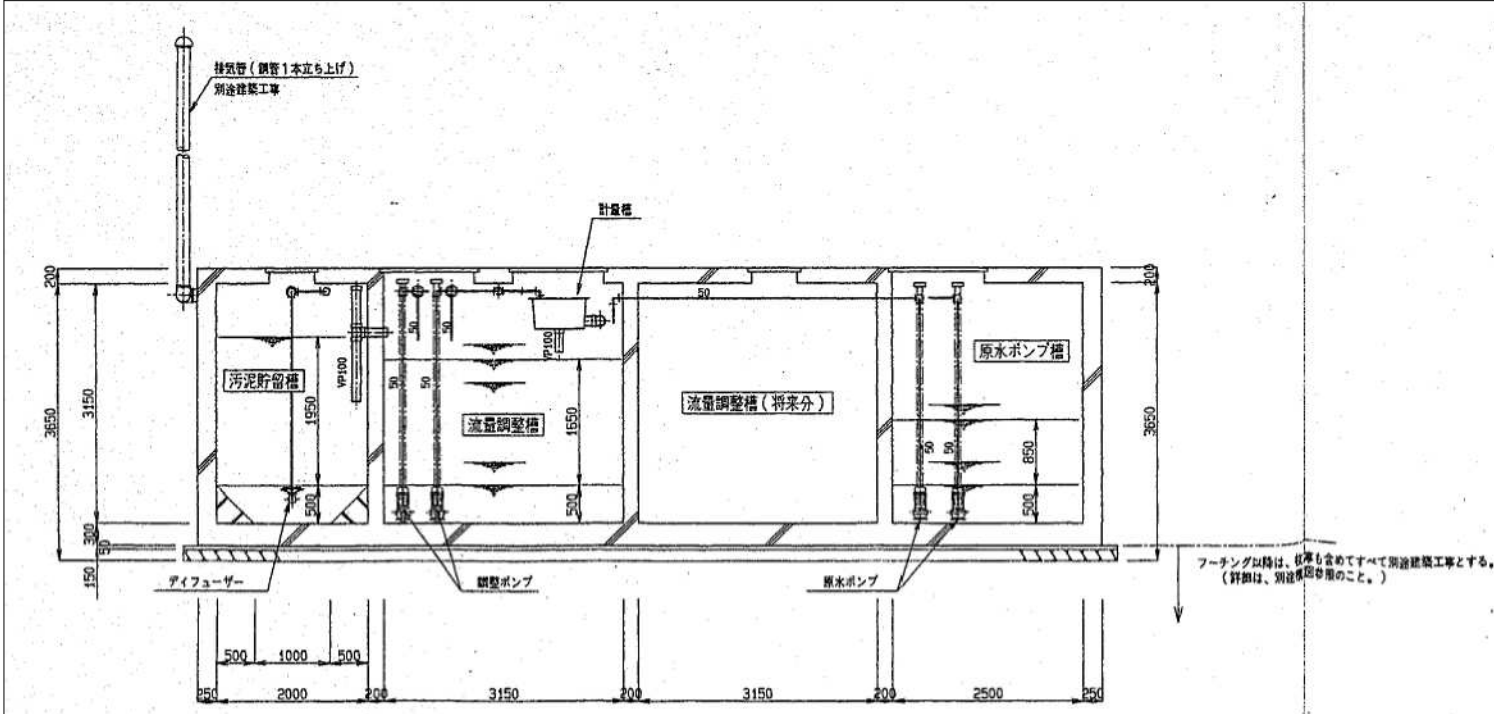
汚泥汲取処分量 95m3
産廃処分量（廃プラ） 12m3
鉄くず 200kg

◎特記事項（以下共通）

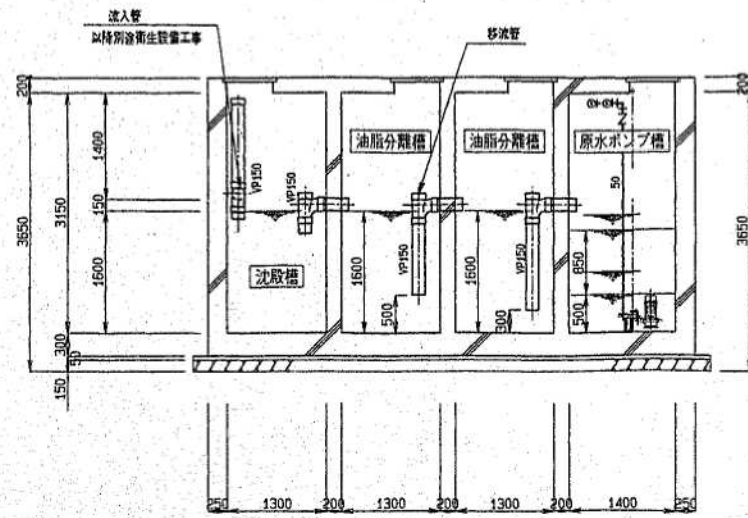
- 既設処理槽撤去の条件
- (1) 汚水汲取及び処分作業
 - (2) 槽内清掃・消毒作業
 - (3) 槽内機器・装置・配管・付属類の撤去作業
 - (4) 電気配管・配線・制御盤類の撤去作業
 - (5) 上記に伴う産廃処分作業（廃プラ等）

備考				塩竈市産業建設部まちづくり・建築課	設計	管理技術者		作図年月日		承認	工事名		縮尺	図番
					日新設計 株式会社	荒井 孝		R 7 . 2 . 1			令 7－依・単 旅客ターミナル施設排水設備改修工事			
					施工	現場代理人					図面名		区分	

塩竈市産業建設部まちづくり・建築課



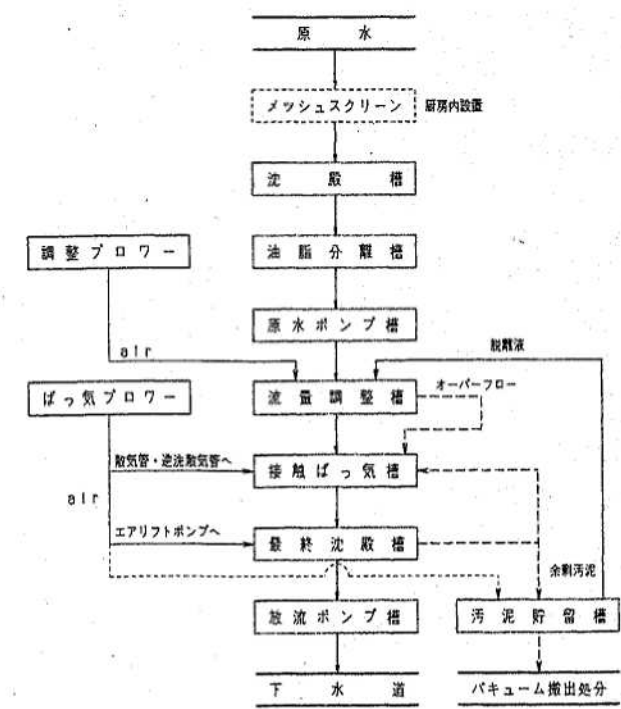
B-B断面図 S=1/50



C-C断面図 S=1/50

フーリング以降は、収容も含めてすべて別途建築工事とする。
(詳細は、別途要図参照のこと。)

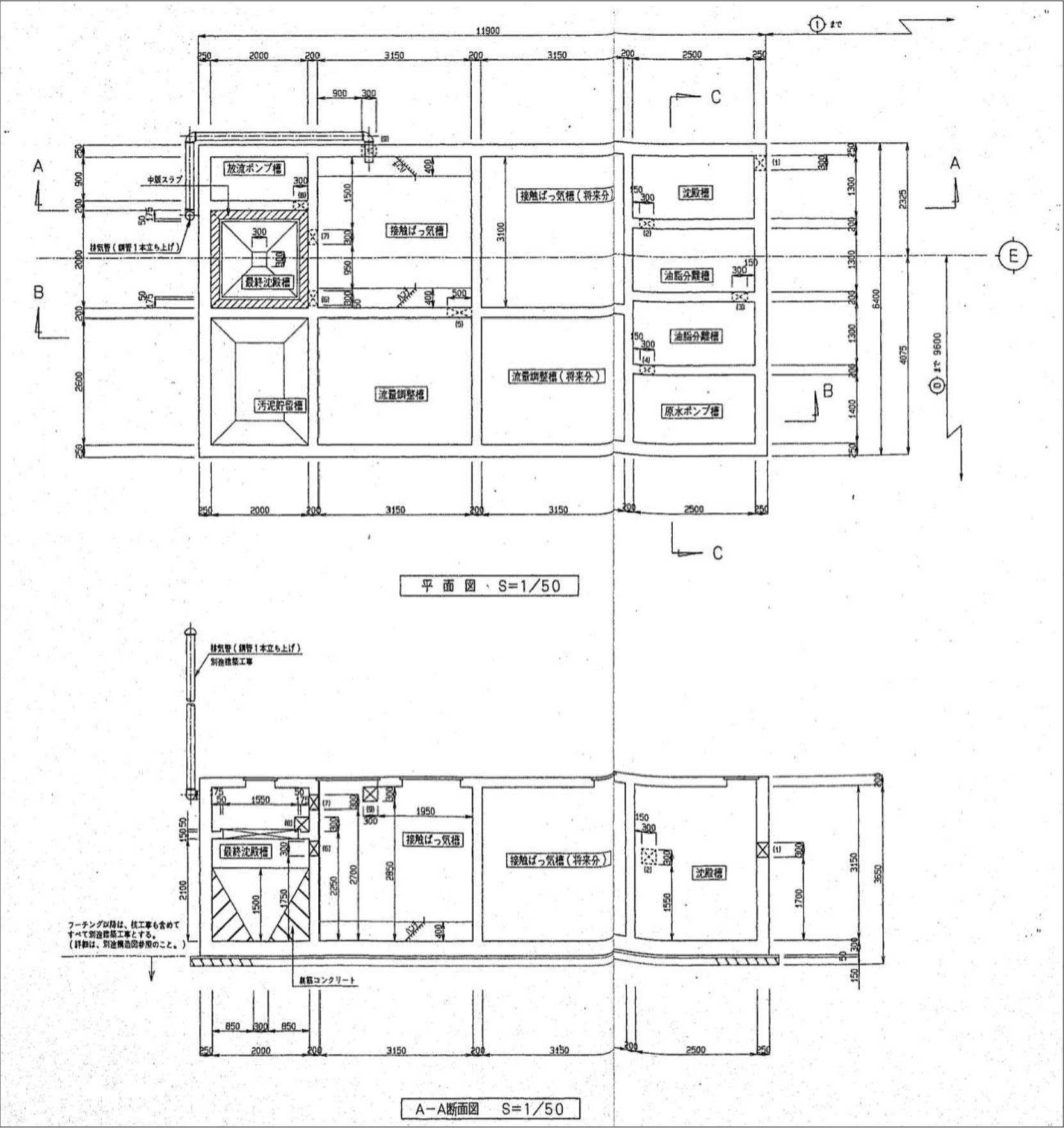
フローシート



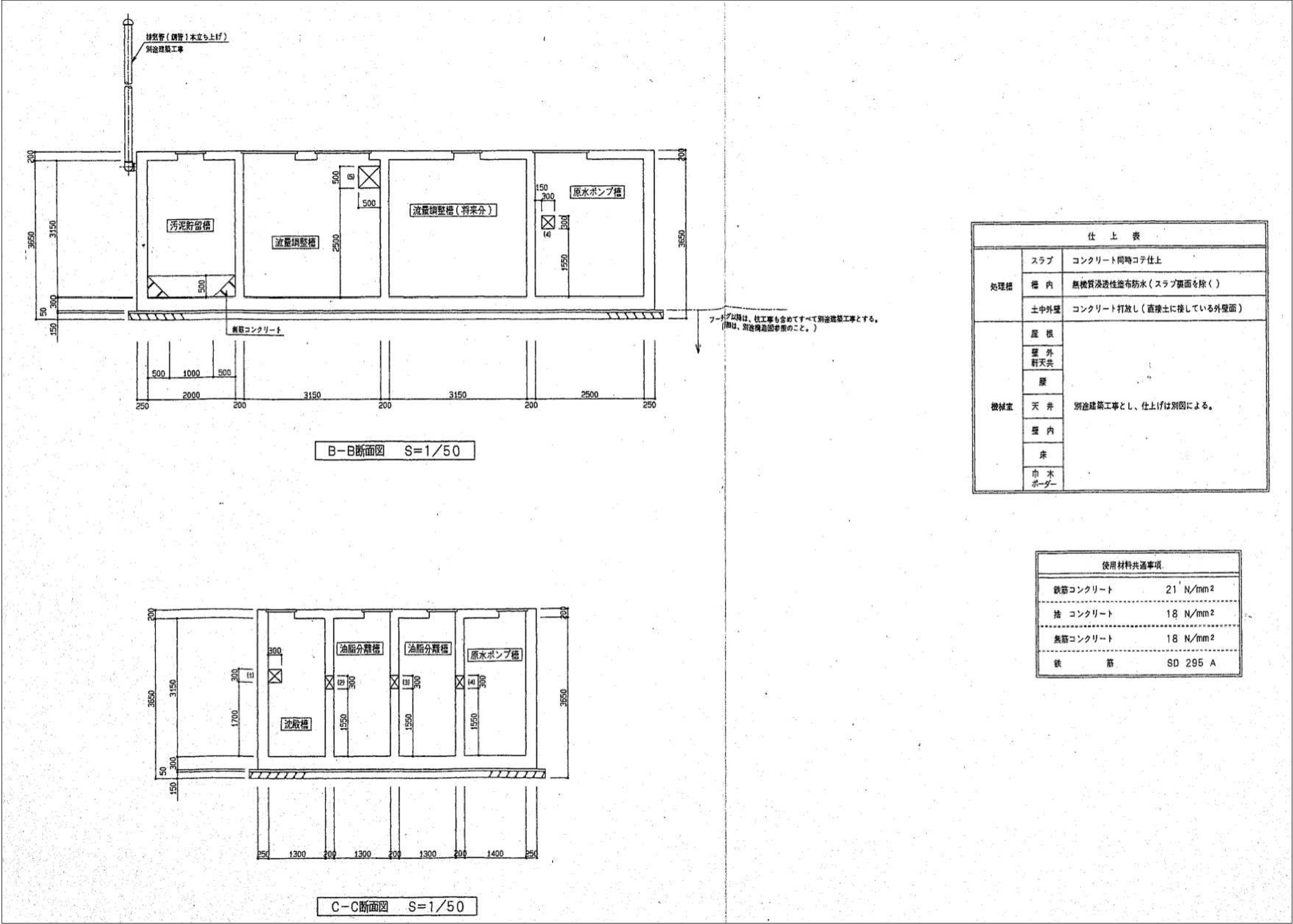
処理対象汚水： 厨房系排水（建築用途： 雑居ターミナルビル）
計画排水量： 20.0m³/日
計画水質

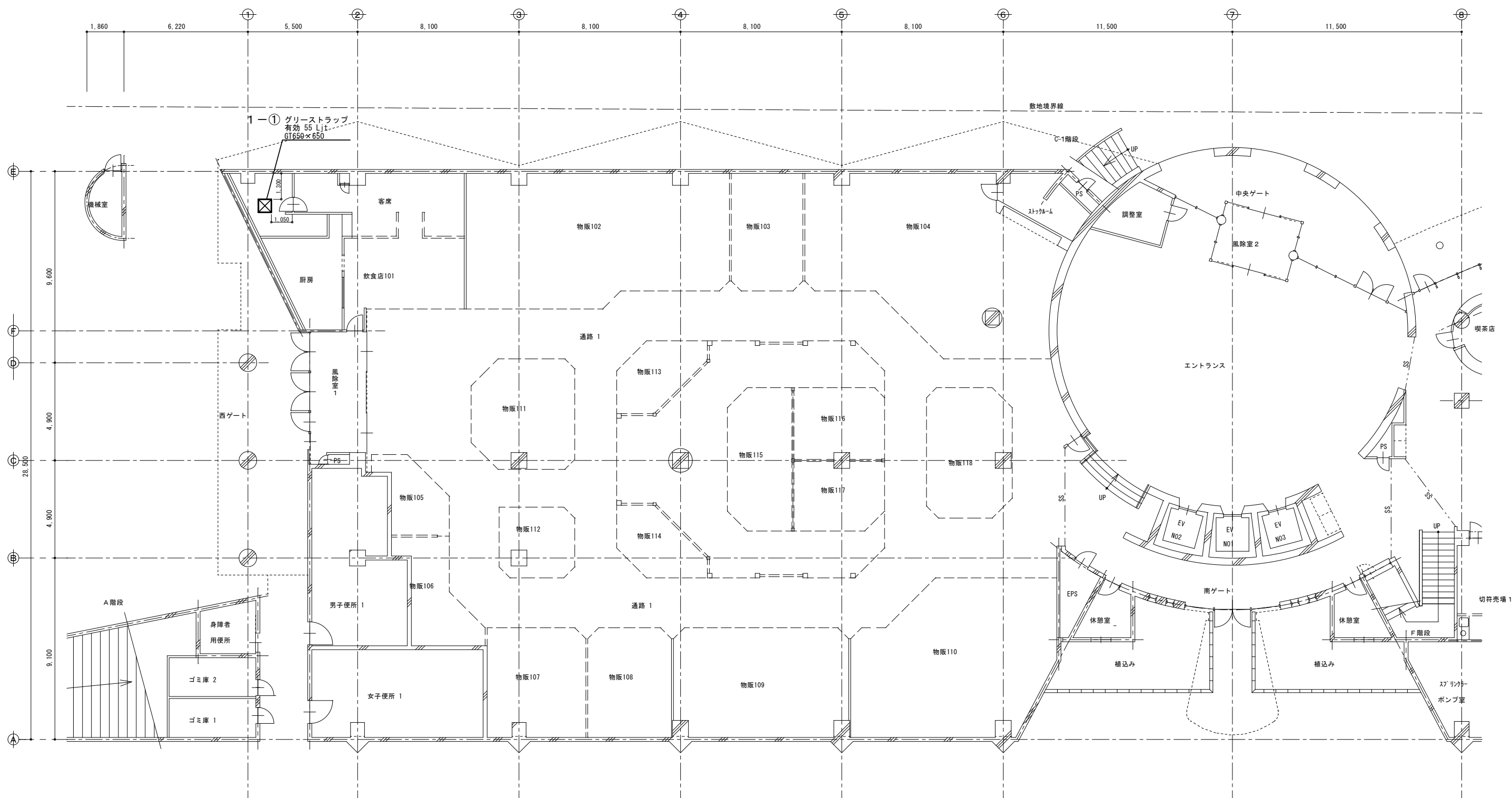
	流入水質	処理水質	除去率
BOD	800mg/l	250mg/l以下	68.7%以上
SS	500mg/l	250mg/l以下	50.0%以上
N-Hx	120mg/l	25mg/l以下	79.2%以上
PH	5.8-8.6	5.8-8.6	—

(N-Hx は動植物油脂含有量)
処理方式： 生物処理（接触ばっ気方式）



備考				塩竈市産業建設部まちづくり・建築課	設計	日新設計 株式会社		管理技術者	荒井 孝		作図年月日	R 7 . 2 . 1		承認	工事名		令 7-依・単 旅客ターミナル施設排水設備改修工事	縮尺	1/50	図番	M-08
					施工			現場代理人					図面名		排水設備撤去図（４）		区分				





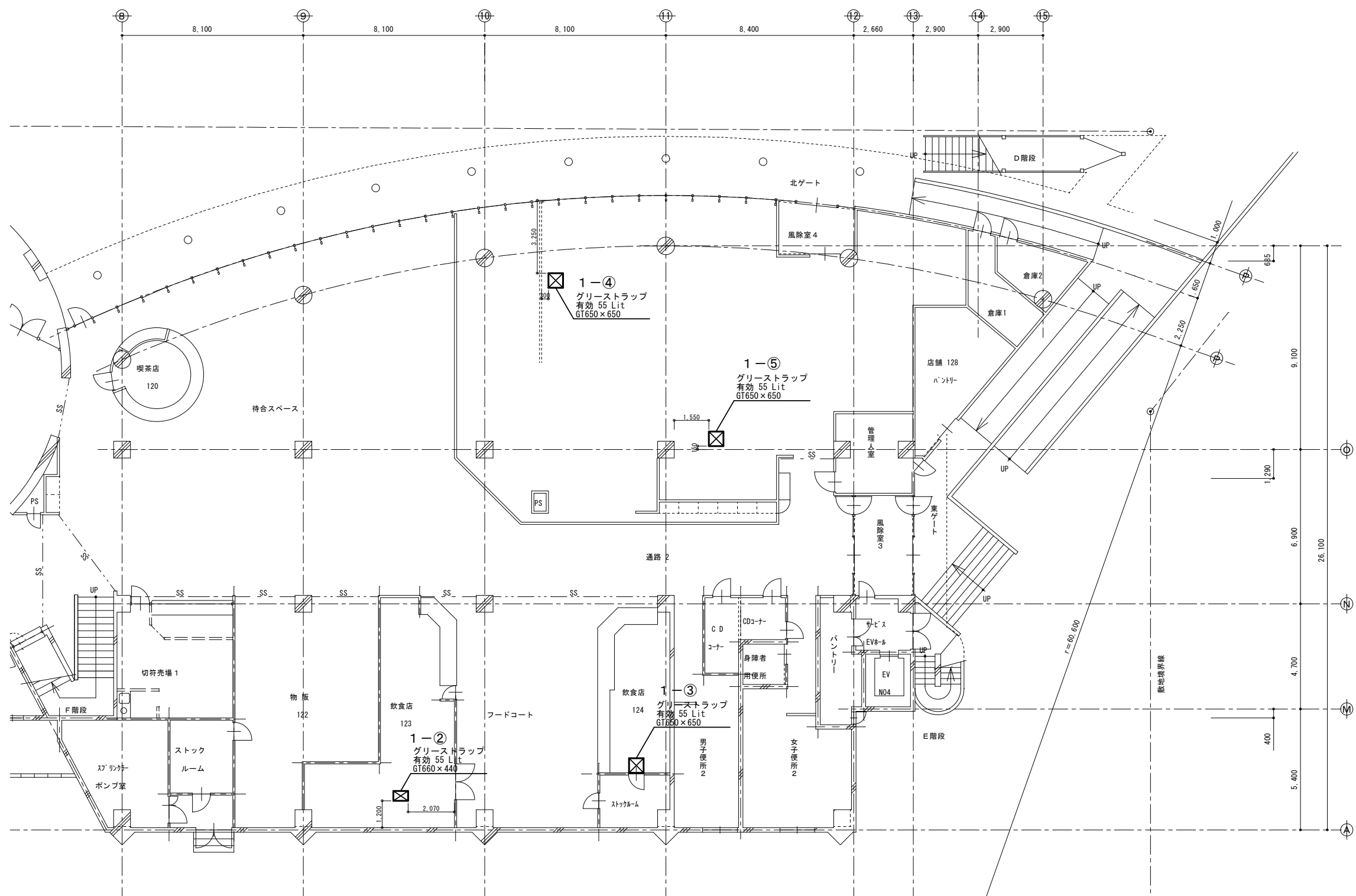
1 階平面図 1 : 100

グリーストラップ一覧表

記号	寸法(mm)	有効容量(L)	数量
1－①	650×650	55	1
1－②	660×440	55	1
1－③	650×650	55	1
1－④	650×650	55	1
1－⑤	650×650	55	1

記号	寸法 (mm)	有効容量 (L)	数量
2-①	600 × 970	80	2
2-②	650 × 650	55	1
2-③	650 × 650	55	1
2-④	650 × 650	55	1

備考			塩竈市産業建設部まちづくり・建築課	設計	日新設計 株式会社	管理技術者	荒井 孝	作図年月日	R 7 . 2 . 1	承認	工事名	令 7—依・単 旅客ターミナル施設排水設備改修工事	縮尺	1/100	図番	M—10
				施工		現場代理人					図面名	1 階グリーストラップ配置図 (1) (参考図)	区分			



1階平面図 1:100

グリーストラップ一覧表

記号	寸法 (mm)	有効容量 (L)	数量
1-①	650×650	55	1
1-②	660×440	55	1
1-③	650×650	55	1
1-④	650×650	55	1
1-⑤	650×650	55	1

記号	寸法 (mm)	有効容量 (L)	数量
2-①	600×970	80	2
2-②	650×650	55	1
2-③	650×650	55	1
2-④	650×650	55	1

備考		塩竈市産業建設部まちづくり・建築課	設計	日新設計 株式会社	管理技術者	荒井 孝	作図年月日	R 7 . 2 . 1	承認	工事名	令 7-依・単 旅客ターミナル施設排水設備改修工事	縮尺	1/100	図番	M-11
			施工		現場代理人					図面名	1階グリーストラップ配置図 (2) (参考図)	区分			

